

令和 元 年度

事 業 報 告 書

公益社団法人日本歯科衛生士会

目 次

	(頁)
1. 令和元年度事業計画（運営指針・重点課題）	2
2. 令和元年度事業報告	3
3. 会員の状況（参考資料1）	3 2
4. 理事、監事、代議員、顧問、職員（参考資料2）	3 7
5. 常任委員会等名簿（参考資料3）	3 9
6. 令和元年度第5次生涯研修制度 専門研修開催状況（参考資料4）	4 2
7. 令和元年度第5次生涯研修制度 修了者数（参考資料5）	4 3
8. 特別研修指定研修会（参考資料6）	4 4
9. 令和元年度認定歯科衛生士登録者名簿（参考資料7）	4 5
10. 令和元年度「地域歯科衛生活動」助成事業（参考資料8）	4 9
11. 令和元年度日本歯科衛生士会会長表彰 受賞者（参考資料9）	5 0
12. 令和2年度予算・制度等に関する要望について（参考資料10）	5 1
令和2年度歯科診療報酬改定等に関する要望について（参考資料10）	5 6
13. 加入団体及び後援協力事業（参考資料11）	5 9

令和元年度事業計画

運営指針

公益社団法人日本歯科衛生士会は、47都道府県歯科衛生士会との連携協力のもと、歯科口腔保健の向上に努め、国民の健康と福祉に寄与することを目的として、次の重点課題に取り組みます。

重点課題

- 1 国民の生涯を通じた歯科口腔保健の向上に関する事
- 2 安心・安全かつ良質な歯科保健医療サービスの提供に関する事
- 3 医科歯科連携のチーム医療における歯科衛生業務の充実に関する事
- 4 在宅歯科医療の推進にともなう歯科衛生業務の充実に関する事
- 5 地域包括ケアシステムにおける多職種連携の口腔健康管理の推進に関する事
- 6 介護予防における口腔機能向上、オーラルフレイルの予防に関する事
- 7 歯科衛生の普及啓発および地域歯科衛生活動の推進に関する事
- 8 生涯研修事業の充実・推進に関する事
- 9 日本歯科衛生学会の発展・向上に関する事
- 10 歯科衛生士の人材確保・復職支援等の推進に関する事
- 11 災害支援歯科衛生士の育成およびネットワークシステムの整備に関する事
- 12 組織の拡大・発展に関する事

令和元年度事業報告

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

法人の概況

1 設立年月日

昭和26年10月27日(設立)

昭和41年5月23日(社団法人認可)

平成24年4月1日(公益社団法人移行)

2 定款に定める目的

本会は、都道府県歯科衛生士会との連携のもと、歯科衛生士の資質の向上及び倫理の高揚並びに歯科衛生の実践に根ざした学術研究の振興を推進し、あわせて歯科衛生の普及啓発を図ることにより、国民の健康と福祉の増進に寄与することを目的とする。

3 定款に定める事業内容

- (1) 歯科衛生士の資質の向上及び倫理の高揚に関すること
- (2) 日本歯科衛生学会の開催等学術研究の振興に関すること
- (3) 歯科衛生の普及啓発に関すること
- (4) 歯科衛生業務の改善及び向上に関すること
- (5) 歯科衛生の国際協力に関すること
- (6) 都道府県歯科衛生士会等、関係団体との連携協力に関すること
- (7) その他本会の目的達成のために必要なこと

4 行政庁に関する事項

内閣府大臣官房公益法人行政担当室

5 会員の状況

参考資料1に記載のとおり

6 事務所の所在地

東京都新宿区大久保二丁目11番19号

7 役員等に関する状況

参考資料2、参考資料3に記載のとおり

8 職員に関する事項

参考資料2に記載のとおり

事業

I 歯科衛生士の資質の向上及び倫理の高揚ならびに学術研究の振興により、歯科衛生士の人材育成を図り、国民の健康と福祉に寄与する事業（公1）

1 歯科衛生士の資質の向上及び倫理の高揚に関する事業

歯科医学・医療の進歩や歯科保健医療ニーズの変化にともなう知識・技能の習得及び医療安全等の最新情報に関する生涯研修事業の企画・運営・推進により、歯科衛生士の資質の向上及び倫理の高揚を図るとともに、特定の専門分野において水準の高い歯科衛生士を育成し、認定することにより、歯科衛生業務の実践・指導力を高め、国民の健康と福祉の増進に寄与した。

(1) 生涯研修事業

① 専門研修の企画・運営・推進

ア 基本研修

4 7都道府県歯科衛生士会において、専門研修（基本研修）が770回開催され、26,199名（会員23,220名、会員外2,979名）が受講した。

・内訳

A 臨床研修コース

a 歯周治療の基本技術 119回 4,333名

b 摂食嚥下機能療法の基本技術 118回 4,476名

B リフレッシュコース (a ~ j) 248回 7,672名

C 特定コース

a 歯科診療所等における医療安全管理対策 60回 1,613名

b 周術期等の口腔機能管理 56回 2,487名

c 在宅歯科医療の基礎 169回 5,618名

(参考資料4)

【第22回感染症予防歯科衛生士講習会の開催】

日本歯科医師会・日本歯科衛生士会共催

熊本会場	開催日	令和元年 7 月 21 日 (日)
	会場	熊本県歯科医師会館
	協力	公益社団法人熊本県歯科衛生士会
	受講料	無料
	受講者数	82名 (内訳 会員64名 会員外14名 傍聴4名)
山梨会場	開催日	令和元年 8 月 25 日 (日)
	会場	韮崎市民交流センター NICORIーニコリー
	協力	一般社団法人山梨県歯科衛生士会
	受講料	無料
	受講者数	64名 (内訳 会員45名 会員外15名 傍聴4名)

研修内容		
「最新の感染症事情～HIV 感染症と歯科～」		
国立病院機構九州医療センター 歯科口腔外科	部長・科長	吉川 博政 (熊本会場)
国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院	副病院長 歯科・口腔外科診療科長	丸岡 豊 (山梨会場)
「院内の感染予防管理」		
大阪労災病院 歯科口腔外科 部長		吉岡 秀郎 (熊本会場)
社会医療法人社団森山医会 森山記念病院	歯科口腔外科	宮本 智行 (山梨会場)
「歯科診療所における医療安全管理」		
九州歯科大学 歯学部	口腔保健・健康長寿推進センター 教授	大渡 凡人 (熊本会場)
赤坂見附磯谷歯科室 院長		磯谷 一宏 (山梨会場)

イ 特別研修

【第64回日本口腔外科学会総会・学術大会「第13回歯科衛生士研究会」及び「歯科・口腔外科看護研究会&歯科衛生士研究会合同発表会」の開催】

開催日	令和元年10月26日(土)
会場	札幌コンベンションセンター
主催	公益社団法人日本口腔外科学会
共催	公益社団法人日本歯科衛生士会
協力	全国私立歯科大学歯学部附属病院看護部長会 一般社団法人北海道歯科衛生士会
受講料	事前申込 3,000円 当日申込 5,000円
参加者数	参加者数 188名 事前申込者109名(会員64名、会員外45名) 当日申込者 76名(会員30名、会員外46名) その他 3名(口腔外科学会会員[歯科衛生士]2名、学生1名)
口演発表	歯科衛生士研究会 14題 歯科・口腔外科看護研究会&歯科衛生士研究会合同発表会 4題

上記の他、本会が主催・共催する特別研修には「日本歯科衛生学会学術大会」への参加、発表及び「日本歯科衛生学会 学会雑誌」への論文投稿等による学習を対象としている。第14回学術大会参加、発表、学会雑誌 (Vol. 14 No1、No2) 論文投稿 1,562名

・その他特別研修の指定

その他特別研修として、関連学会、関係団体等の申請に基づき18項目を指定した。
その他特別研修による自己申請者71名 (参考資料6)

ウ 指定研修

指定研修課程の修了者による自己申請者	9名
(内訳) 4年制大学課程卒業	7名
大学院(修士・博士)課程修了	1名
専攻科及び病院等の臨床研修課程修了	1名

エ 専門研修修了者数(令和元年12月31日現在)

・基本研修	717名	
・特別研修	118名	
・指定研修	9名	合計844名

(参考資料5)

② 認定研修(認定歯科衛生士セミナー)の実施

【日本歯科衛生士会主催】

ア 生活習慣病予防(特定保健指導-食生活改善指導担当者研修)

日 程	(前期) 令和元年 8月24日(土) 25日(日)
	(後期) 10月12日(土) 13日(日) 14日(祝)
会 場	東京医科歯科大学 1号館
受講料	30,000円
受講者数	18名(前期のみ)
研修内容	
(前期)	
「健康づくり施策概論」	
健康なまちづくり支援ネットワーク	岩永 俊博
「栄養指導」	
公益財団法人神奈川県予防医学協会 運営部事務課医局 主任	今井 愛
「特定健診・特定保健指導について」	
公益社団法人日本歯科衛生士会 認定歯科衛生士委員会委員	小山 圭子
「生活指導およびメンタルヘルスケア」	
国際医療福祉大学医学部教授・山王病院心療内科	中尾 睦宏
※後期は、台風19号の接近のため、令和2年度に延期	

イ 摂食嚥下リハビリテーション

日 程	(前期) 令和元年 8月24日(土) 25日(日)
	(後期) 10月12日(土) 13日(日) 14日(祝)
会 場	東京医科歯科大学 1号館
受講料	35,000円
受講者数	52名(前期のみ)

研修内容 (前期)		
「リハビリテーション総論」	医療法人ふじあく医院 理事長	馬場 尊
「リスクマネジメント・全身管理」	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 教授	深山 治久
「栄養管理」	東京都保健医療公社 大久保病院 リハビリテーション科	御子神由紀子
「摂食嚥下機能のメカニズム」	東京歯科大学解剖学講座 講師	山本 将仁
「病態別摂食・嚥下障害（小児の摂食・嚥下障害）」	昭和大学 名誉教授	向井 美恵
「咬合および咀嚼機能の評価と管理」	鶴見大学 名誉教授	森戸 光彦
「摂食・嚥下の評価」	昭和大学歯科病院口腔リハビリテーション科診療科長・教授	高橋 浩二
※後期は、台風19号の接近のため、令和2年度に延期		

【日本歯科衛生士会主催・都道府県歯科衛生士会共催】

在宅療養指導・口腔機能管理

地区	開催日	都道府県歯科衛生士会 会場	受講者数 (修了者数)
兵庫	(前期) 令和元年 7月13日(土) 14日(日) 15日(祝)	兵庫県歯科衛生士会 JEC日本研修センター 神戸元町	49名 (48名)
	(後期) 令和元年 8月3日(土) 4日(日)		
東京	(前期) 令和元年 8月24日(土) 25日(日)	東京医科歯科大学 1号館	38名
	(後期) 令和元年 10月12日(土) 13日(日) 14日(祝) ※ 後期は、台風19号の接近のため、令和2年度に延期		
受講料 40,000円 受講者総数 兵庫 前期49名 後期48名 東京 38名(前期のみ)			

研修項目		研修内容
1	超高齢社会の現状 (講義)	1) 高齢者を取り巻く環境 2) 身体と精神面の特徴 3) 医療と介護

		<ul style="list-style-type: none"> 4) 認知症の症状と分類 5) 口腔機能管理が求められる理由
2	咬合と咀嚼 (講義)	<ul style="list-style-type: none"> 1) 咬合に起因する病態 2) 咀嚼の解剖学的・生理学的基礎 3) 食塊形成への理解
3	咬合と咀嚼の評価 (演習)	<ul style="list-style-type: none"> 1) 咬合の観察と分類(演習:アイヒナー分類) 2) 咀嚼の客観的評価法 <ul style="list-style-type: none"> ①咀嚼と嚥下(せんべい) ②グミゼリー ③咀嚼スコア
4	口腔機能低下症	<ul style="list-style-type: none"> 1) オーラルフレイルと口腔機能低下症 2) 口腔内微生物叢 3) 高齢者の口臭
5	計測器を使った評価法	<ul style="list-style-type: none"> 1) 細菌カウンタ 2) 舌圧計 3) 口腔水分計
6	唾液 (講義)	<ul style="list-style-type: none"> 1) サクソン法(便法)による計測 2) 唾液の成分 3) 成分ごとの働き 4) 唾液不足から表れること 5) 歯科衛生士の役割
7	発音(構音)と諸器官・組織	<ul style="list-style-type: none"> 1) 発音(構音)時の各組織と器官の関わり 2) 発音による評価(オーラルディアドコキネシス)
8	栄養サポート	<ul style="list-style-type: none"> 1) 栄養サポートのシミュレーション実習 <ul style="list-style-type: none"> ①口腔機能进行评估する ②食支援の具体策を作る ③発表(プレゼンテーション) 2) 栄養サポートのまとめ (地域包括ケアシステムのなかでの歯科)
9	医療と介護の連携 (講義)	<ul style="list-style-type: none"> 1) 地域包括ケアシステムについて 2) 多職種連携の実際 3) 在宅療養者の環境把握
10	終末期への対応 (講義)	<ul style="list-style-type: none"> 1) 看取りの考え方 2) 歯科衛生士の役割
11	高齢者の全身疾患(評価と対応)	<ul style="list-style-type: none"> 1) リスク評価の重要性 2) 全身状態の把握と対応 3) 精神疾患(認知症)への対応 4) 照会状の書き方 5) 診療情報提供書の読み方 6) 全身疾患と検査値との関連

12	実践例の紹介	実践例紹介 ミールラウンド、介護予防等、ディスカッション
13	在宅療養者への歯科衛生士としての介入	グループワーク 1) 状況設定(症例検討題材:脳梗塞後、認知症、がん末期、神経性難病、糖尿病、心臓病、呼吸器疾患等) 症例検討題材からの問題点の抽出 2) 問題点の抽出(KJ法) 3) 介入法の検討
講 師		
	鶴見大学 名誉教授	森戸 光彦
	鶴見大学歯学部高齢者歯科学講座 非常勤講師	飯田 良平
	新潟大学 大学院医歯学総合研究科包括歯科補綴学分野 教授	小野 高裕
	医療法人永寿会陸北病院 副院長	阪口 英夫
	東京歯科大学 老年歯科補綴学講座 教授	櫻井 薫
	大阪歯科大学 高齢者歯科学講座 教授	高橋 一也
	東京医科歯科大学大学院 歯学総合研究科 教授	古屋 純一
	広島大学大学院医歯薬保健学研究科先端歯科補綴学 教授	津賀 一弘
	厚生労働省医政局歯科保健課 主査	星 真奈実
	神戸市立医療センター中央市民病院看護部 歯科衛生士	石井 美和
	横浜市緑区福祉保健センター 歯科衛生士	岩崎 妙子
	学校法人平成医療学園 歯科衛生士	金子 信子
	三ノ輪口腔ケアセンター 歯科衛生士	清水けふ子

【日本歯科衛生士会主催・歯科衛生士教育機関委託・協力】

ア 糖尿病予防指導（協力機関 徳島大学歯学部）

日 程	(前期) 令和元年 8月31日(土) 9月1日(日)
	(後期) 9月28日(土) 29日(日)
会 場	徳島大学歯学部
受 講 料	35,000 円
受講者数	46名 修了者数 46名

研修項目		研修内容
1	オリエンテーション	1 研修の概要説明と時間割の確認 2 ペアによる他己紹介 3 糖尿病予防の重要性 4 「糖尿病とその予防で学習したいこと」KJ法
2	講義 ワークショップ	1 糖尿病の基礎知識と臨床の実際 2 糖尿病と歯周病の関連性 3 「糖尿病予防の目的と必要性①」KJ法

3	講義 ワークショップ	1 地域歯科医療における糖尿病予防 2 多職種連携における糖尿病予防 3 糖尿病予防の口腔保健指導と管理 4 糖尿病と歯周病の最新情報 5 「糖尿病予防の目的と必要性②」KJ法、二次元展開図
4	講義 ワークショップ	1 糖尿病予防の保健指導と管理 2 糖尿病予防の栄養指導と管理 3 糖尿病予防の口腔保健指導と管理のポイント 4 シナリオに対する口腔保健指導のプラン作成
5	演習	1 カンパセーションマップ
6	実習 総合討論	1 口腔保健指導プランをもとに相互実習 2 全体発表、総合討論
7	口腔保健指導の 体験	1 健口フェア参加者への口腔保健指導の体験 2 口腔保健指導を行った症例について、後日報告書を提出、 評価
講師等		
徳島大学大学院 口腔機能管理学教授 松山 美和 徳島大学大学院 口腔保健支援学教授 尾崎 和美 徳島大学大学院 分子薬理学教授 吉本 勝彦 徳島大学大学院 歯周歯内治療学教授 湯本 浩通 徳島大学大学院 口腔保健衛生学教授 日野出大輔 徳島大学大学院 口腔保健教育学教授 伊賀 弘起 徳島県歯科医師会 理事 岡本 好史 他に研修担当11名（歯科医師1名、歯科衛生士6名、看護師2名、薬剤師1名、 管理栄養士1名）		

イ 医科歯科連携・口腔機能管理

○委託・協力機関 九州歯科大学

日 程	令和元年 9 月 9 日 (月) ~ 13 日 (金)
会 場	九州歯科大学
受 講 料	55,000 円
受講者数	10 名 修了者数 10 名
研修プログラム	
1	ガイダンス
2	周術期に関する講義 ① 外科医によるがん手術の術式と術後管理 ② 内科医による周術期管理に関する内科的課題 ③ 口腔外科医による顎顔面領域の外科手術の周術期管理 ④ 口腔保健・健康長寿推進センターにおける歯科医療と全身管理
3	周術期口腔機能管理における多職種連携に必要な技術 ① 情報共有に必要な歯科衛生過程の講義 ② がん患者の口腔機能管理症例演習 ③ 周術期における摂食嚥下機能評価機能 (内視鏡下嚥下機能検査(VE)含む)

4	九州歯科大学附属病院での周術期口腔機能管理の見学実習	
5	製鐵記念八幡病院での入院支援センターの見学実習	
6	臨床研究のための文献検索、文献の読み方、研究方法に関する講義 統計解析実習	
講師等		
	九州歯科大学 教授	日高 勝美
	九州歯科大学 歯学部口腔保健学科教授	秋房 住郎
	九州歯科大学 歯学部口腔保健学科教授	引地 尚子
	九州歯科大学 歯学部口腔保健・健康長寿推進センター教授	大渡 凡人
	九州歯科大学 歯学部口腔保健学科教授	藤井 航
	九州歯科大学 歯学部口腔保健学科教授	園木 一男
	九州歯科大学 歯学部口腔保健学科教授	中道 敦子
	九州歯科大学 歯学部外科学教授	中島 秀彰
	他に研修担当9名（歯科医師4名、看護師1名、歯科衛生士4名）	

○委託・協力機関 東京歯科大学

日 程	(前期) 令和元年 7 月 4 日 (木) 5 日 (金) 6 日 (土)
	(後期) ①令和元年 7 月 22 日 (月) 23 日 (火)
	②令和元年 7 月 29 日 (月) 30 日 (火)
	③令和元年 8 月 5 日 (月) 6 日 (火)
	④令和元年 8 月 19 日 (月) 20 日 (火)
	⑤令和元年 8 月 26 日 (月) 27 日 (火)
	※5班に分けて実施
会 場	東京歯科大学 市川総合病院
受 講 料	55,000 円
受講者数	20 名 修了者数 19 名

研修項目	研修内容
1 ガイダンス	認定研修の概要
2 周術期に関する講義	総論 一病院歯科の役割一 病院における口腔機能管理に必要な基本的知識 がん患者の周術期管理（外科の立場から） 脳卒中患者の口腔機能管理 周術期口腔機能管理の制度と医科歯科連携 周術期口腔機能管理の実際～歯科衛生士の立場から 緩和ケア～看護師の立場から 化学療法と有害事象～薬剤師の立場から 放射線療法と有害事象～医学物理士の立場から
3 周術期口腔機能管理の演習	症例検討（グループワーク） 吸引・呼吸音聴診実習
4 臨床研究	臨床研究の進め方 研究方法
5 周術期口腔機能管理の見学実習（東京歯科大学市川総合病院）	歯科・口腔外科での周術期口腔機能管理見学実習 東京歯科大学口腔がんセンターの見学実習 病棟での口腔管理見学実習

6	医科歯科連携見学実習	NST (栄養サポートチーム) 回診見学実習 RST (呼吸サポートチーム) 回診見学実習
講師等		
東京歯科大学短期大学 学長		石井 拓男
東京歯科大学短期大学 副学長		山田 好秋
東京歯科大学 歯科医療管理学教授		鳥山 佳則
東京歯科大学 口腔病態学講座教授		片倉 朗
東京歯科大学 オーラルメディシン・口腔外科学講座教授		野村 武史
東京歯科大学市川総合病院 副病院長		松井 淳一
東京歯科大学市川総合病院 臨床薬学科・薬剤部教授		門田 佳子
他に研修担当14名(歯科医師1名、歯科衛生士10名、医師1名、看護師1名、医学物理士1名)		

③ 歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業

厚生労働省委託・日本歯科衛生士会主催

ア「歯科衛生士の研修指導者・臨床実地指導者等講習会」の実施

開催日	会場	協力団体・機関等	受講者数
令和元年 12月14日(土)15日(日)	東京医科歯科大学	東京医科歯科大学	32名
12月21日(土)22日(日)	いわて県民情報交流センター	岩手県歯科衛生士会	28名
令和2年 1月25日(土)26日(日)	大阪歯科大学附属病院	大阪歯科大学	32名
2月1日(土)2日(日)	福岡県歯科医師会館	福岡県歯科衛生士会	32名

[1日目]

講習内容
S-I 講習会の進め方・WSとは
S-II 歯科保健医療の動向と歯科衛生士を取り巻く環境の変化(講義)
S-III 歯科衛生士の復職支援・離職防止等の推進に関する共通ガイドラインの理解(アイスブレイクを兼ねてクイズ形式で実施)
S-IV 歯科衛生士の就業先(診療所)での問題点の抽出
S-V 歯科医療従事者のスタッフトラブルを考える(講義)
S-VI 研修カリキュラムのプランニング(①研修目標 ②研修方略の作成)

[2日目]

S-VIII 雇用形態等の労働法規の仕組み ケースの紹介
S-VI 研修カリキュラムのプランニング(③研修評価の作成、④プロダクトの修正)
S-VII 組織における人材育成及び医療従事者の勤務環境改善マネジメントの考え方(演習含む)
S-IX 問題解決・問題点への対応「研修指導者・臨床実地指導者の役割」

S-X 地域で役立てるために

S-XI まとめ、質疑応答

タスクフォース・講師等

(タスクフォース)

日本歯科大学生命歯学部/東京歯科大学歯科医学教育開発センター 教授

日本大学松戸歯学部 歯科矯正学 教授

東京歯科大学 社会歯科学研究室 教授

東京医科歯科大学 統合教育機構 准教授

日本歯科衛生士会企画運営委員

神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科

東京医科歯科大学歯学部附属病院歯科衛生士総合研修センター

日本歯科大学東京短期大学

住友商事株式会社人事厚生部ヘルスプランニングチーム歯科診療所

名古屋医療スポーツ専門学校

広島大学大学院医系科学研究科口腔保健管理学的研究室

(講師)

(大阪会場) 厚生労働省医政局歯科保健課 課長

(東京会場) " 課長補佐

(福岡会場) " 主査

(岩手会場) " 主査

日本歯科大学附属病院総合診療科 准教授

産業能率大学 経営学部教授

フェニックス社労士事務所 代表

俣木志朗

葛西一貴

平田創一郎

鶴田潤

上原弘美

岡田昌子

小森朋栄

島谷和恵

田村清美

松本厚枝

田口円裕

小嶺祐子

堀義明

星真奈実

大澤銀子

宮内ミナミ

峯岸陽子

イ「歯科衛生士復職支援・離職防止等研修指導者養成研修等事業」運営協議会の開催

委員長 須田 英明 (東京医薬専門学校 学校長 日本医歯薬専門学校 学校長)

委員 俣木 志朗 (日本歯科大学生命歯学部 教授 東京歯科大学歯科医学教育
開発センター 教授)

水口 俊介 (東京医科歯科大学歯科衛生士総合研修センター センター長
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 教授 (副病院長))

山本 一世 (大阪歯科大学歯科衛生士研修センター センター長
大阪歯科大学歯学部 主任教授 (副病院長))

内藤真理子 (広島大学歯学部歯科衛生士教育研修センター 副センター長
広島大学大学院医系科学研究科口腔保健疫学 教授)

濱 昌代 (日本歯科医師会 理事)

吉田 直美 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 教授)

オブザーバー

小嶺 祐子 (厚生労働省医政局歯科保健課 課長補佐)

堀 義明 (厚生労働省医政局歯科保健課 主査)

星 真奈実 (厚生労働省医政局歯科保健課 主査)

中西 桃子 (厚生労働省医政局歯科保健課)

- 開催日 ・ 第1回開催日時：令和元年8月23日（金）
 ・ 第2回開催日時：令和元年12月2日（月）
 ・ 第3回開催日時：令和2年2月18日（火）

④ 認定歯科衛生士の認定・登録・更新

ア 特定する認定分野

認定分野A	生活習慣病予防（特定保健指導-食生活改善指導担当者研修）
	摂食嚥下リハビリテーション
	在宅療養指導・口腔機能管理
	糖尿病予防指導
	医科歯科連携・口腔機能管理
認定分野B （専門学会との連携 による認定）	障害者歯科（専門審査機関：日本障害者歯科学会）
	老年歯科（専門審査機関：日本老年歯科医学会）
	地域歯科保健（専門審査機関：日本口腔衛生学会）
	口腔保健管理（専門審査機関：日本口腔衛生学会）
認定分野C	研修指導者・臨床実地指導者

イ 認定審査

認定歯科衛生士審査会（2回開催）

令和元年11月10日（認定分野B）障害者歯科

令和2年2月8日（認定分野A）摂食嚥下リハビリテーション、在宅療養指導・口腔機能管理、糖尿病予防指導、医科歯科連携・口腔機能管理
 （認定分野B）老年歯科、口腔保健管理

ウ 認定登録、認定証交付

認定分野		認定登録者	備考
認定分野A	生活習慣病予防（特定保健指導-食生活改善指導担当者研修）	—	台風19号接近のため後期日程延期
	摂食嚥下リハビリテーション	2名	前年度受講者
	在宅療養指導・口腔機能管理	240名	前年度受講者の施設実習修了者含む
	糖尿病予防指導	46名	
	医科歯科連携・口腔機能管理	29名	
認定分野B	障害者歯科	29名	
	老年歯科	5名	
	地域歯科保健	—	
	口腔保健管理	1名	
認定分野C	研修指導者・臨床実地指導者	130名	

（参考資料7）

エ 認定更新、認定証交付

認 定 分 野		認定更新者数	備 考
認定分野 A	生活習慣病予防（特定保健指導-食生活改善指導担当者研修）	50名	
	摂食嚥下リハビリテーション	92名	
	在宅療養指導・口腔機能管理	81名	
認定分野 B	障害者歯科	42名	
	老年歯科	1名	
	地域歯科保健	—	
	口腔保健管理	1名	

⑤ その他生涯研修に関すること

第5次生涯研修制度実施要綱の一部改正（eラーニング研修実施要領含む）

(2) 地域歯科衛生活動の指導者育成

保健医療福祉の動向に伴う歯科保健医療ニーズの変化に対応し、効果的な歯科衛生活動を実践するため、都道府県歯科衛生士会における歯科保健活動の実施状況を調べ、活動状況に関する情報の共有を図るとともに、歯科衛生推進に関する調査及びマニュアル作成等により活動内容の充実を図り、国民の健康と福祉の増進に寄与した。

① 歯科衛生推進フォーラムの開催

開催日	令和2年2月16日（日）		
会場	ステーションコンファレンス東京503		
参加費	無料		
参加者	134名 （内訳 都道府県歯科衛生士会92名、自由参加者8名、傍聴4名、関係者28名、報道2名）		
実施内容	<p>講演Ⅰ「歯科保健医療の動向」 厚生労働省医政局歯科保健課 課長 田口 円裕</p> <p>講演Ⅱ「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に向けたプログラム」 札幌市保健福祉局成人保健・歯科保健担当部長 （前）厚生労働省老健局老人保健課 医療・介護連携技術推進官 秋野 憲一</p> <p>1 事例報告 「札幌市地域口腔機能向上専門職派遣事業等運営業務について」 一般社団法人北海道歯科衛生士会 会長 武藤 智美 「保健事業と介護予防の一体的実施の推進に向けて」 千葉県柏市保健福祉部地域包括支援課 課長 吉田みどり</p>		

2 グループワーク・発表

3 まとめ・講評

厚生労働省老健局老人保健課 医療・介護連携技術推進官

田上真理子

秋野 憲一

吉田みどり

武藤 智美

② 平成30年度地域歯科保健活動状況調査及び報告書作成、配布

全国47都道府県歯科衛生士会における平成30年度の地域歯科保健活動実施状況は、乳幼児、学童、成人、高齢者、要介護者、障害者等に対し9項目の事業を実施し、実施回数49,879回、歯科衛生士従事者数(延)99,948人、地域住民参加者数(延)1,859,285人であった。

本報告書は、都道府県歯科衛生士会及び関係者に配布し、ホームページに掲載した。

③ 医科歯科連携によるチーム医療の推進に関すること

・全国病院歯科衛生士連絡協議会の開催

医科歯科連携のチーム医療においては、口腔機能管理や口腔衛生処置に係る口腔健康管理について専門的な対応を行うことで、患者のQOLの向上や早期回復に寄与することが明らかになっている。そこで、本協議会は、病院・診療所等の歯科衛生士が、チーム医療における知識・技能の習得及び情報の共有化を図り、医科歯科連携のチーム医療に適切に対応することを目的として開催した。

開催日： 令和元年9月14日(土)

会場： ウィンクあいち(愛知県産業労働センター)

参加費： 無料

参加者： 91名

第1部：講演

「歯科保健医療の動向 ―病院歯科衛生士関連について―」

講師 厚生労働省保険局 歯科医療管理官

小椋 正之

第2部：ワークショップ

テーマ「医科歯科連携における周術期等口腔機能管理

～専門的口腔衛生処置計画の立案～」

・チーム医療推進協議会への参画等

④ 歯科衛生業務に関する調査及びマニュアル作成等

- ・「臨地実習 自己評価表」の発行
- ・リーフレット「お口のケアとトレーニングで取り組むオーラルフレイル対策」の発行、配布
- ・「輝くシニアのための お口の若返りチャレンジBOOK」の監修
- ・「元気な子は歯と歯ぐきが丈夫な子!!」の監修
- ・各種マニュアル等、ホームページに掲載

⑤ その他歯科衛生の推進及び指導者育成に関すること

(3) 歯科衛生士の就業状況・意識等に関する調査

① 第9回歯科衛生士の勤務実態調査の実施

- ・実施日 令和元年10月6日～11月30日
- ・調査対象者 日本歯科衛生士会会員全員 16,722人（令和元年9月30日現在）
- ・発送数 16,722人 回収数 8,932人 回収率 53.4%

② 第9回歯科衛生士の勤務実態調査報告書の作成、配布

- ・第9回歯科衛生士の勤務実態調査報告書 600部作成
- ・第9回歯科衛生士の勤務実態調査報告書（別冊）－都道府県別集計表－ 200部作成
- ・主な配布先

関係省庁、図書館、歯科衛生士学校、歯科大学、都道府県歯科衛生士会、関係団体等

(4) 歯科衛生に関する国際協力

① 第21回歯科衛生国際シンポジウムへの参加

開催期日	2019（令和元）年8月15日（木）～17日（土）
開催地	オーストラリア連邦 ブリスベン
メインテーマ	「Leadership Empowerment Advances Diversity」
参加者	34か国 1,135名 （日本からの参加者 25名、ポスター発表者 7名） 各国のHODメンバーによる「社会責任プロジェクト」の発表 「日本における災害歯科保健活動のためのシステム構築」 日本歯科衛生学会学会長 吉田直美

② 2019年HOD会議への代表者派遣

開催期日	2019（令和元）年8月12日（月）～14日（水）
開催地	オーストラリア連邦 ブリスベン
派遣者	武井 典子 国際歯科衛生士連盟代議員、日本歯科衛生士会会長 吉田 直美 国際歯科衛生士連盟代議員、日本歯科衛生学会学会長 （通訳） 小林ノリヨ 日本歯科衛生士会事務局職員
参加者	代議員 24か国 41名 執行部役員 5名、通訳等オブザーバー 10数名

③ 海外歯科衛生士の学術研究・関連情報の提供

④ その他歯科衛生に関する国際協力

(5) 歯科衛生士の資質向上及び倫理の高揚に関すること

2 歯科衛生の学術研究の振興に関する事業

歯科衛生の実践に根ざした学術研究の振興を図るため、学術大会を開催し、学会雑誌を発行

することにより、科学的根拠に基づく質の高い歯科衛生業務の実践を支援し、国民の健康と福祉の増進に寄与した。

(1) 日本歯科衛生学会 第14回学術大会の開催

メインテーマ「治し支える歯科医療をめざして」

日 程	令和元年9月14日(土)、15日(日)、16日(祝)																		
会 場	ウインクあいち(愛知県産業労働センター)																		
主 催	日本歯科衛生学会、公益社団法人日本歯科衛生士会																		
共 催	公益社団法人愛知県歯科衛生士会																		
後 援	愛知県、名古屋市 一般社団法人愛知県歯科医師会、一般社団法人名古屋市歯科医師会																		
参 加 者	<table> <tr> <td>総 数</td> <td>2,290名</td> </tr> <tr> <td>(内 訳) 学 会 員</td> <td>1,403名</td> </tr> <tr> <td> 学生会員</td> <td>255名</td> </tr> <tr> <td> 学 生</td> <td>163名</td> </tr> <tr> <td> 会 員 外</td> <td>107名</td> </tr> <tr> <td> 企業関係(賛助会員含む)</td> <td>161名</td> </tr> <tr> <td> 講師・来賓</td> <td>36名</td> </tr> <tr> <td> 報道関係</td> <td>11名</td> </tr> <tr> <td> 一般市民(県民フォーラム)</td> <td>154名</td> </tr> </table>	総 数	2,290名	(内 訳) 学 会 員	1,403名	学生会員	255名	学 生	163名	会 員 外	107名	企業関係(賛助会員含む)	161名	講師・来賓	36名	報道関係	11名	一般市民(県民フォーラム)	154名
総 数	2,290名																		
(内 訳) 学 会 員	1,403名																		
学生会員	255名																		
学 生	163名																		
会 員 外	107名																		
企業関係(賛助会員含む)	161名																		
講師・来賓	36名																		
報道関係	11名																		
一般市民(県民フォーラム)	154名																		
学 術 表 彰	学術発表賞(口演発表賞1名、ポスター発表賞1名、学生研究賞1名) 学術論文賞(優秀賞1名、奨励賞3名)																		
商 業 展 示	44社																		
ランチョンセミナー	4社																		
プログラム																			
<ul style="list-style-type: none"> ・特別講演 認知症の人の口を支えるために：歯科治療ガイドラインからの提言 東京都健康長寿医療センター 歯科口腔外科部長 平野 浩彦 ・教育講演 適切な「がん口腔支持医療」の提供のために 国立がん研究センター中央病院 歯科医長 上野 尚雄 ・シンポジウム「治し支える歯科医療をめざして」 <ul style="list-style-type: none"> 基調講演 治し支える歯科医療をめざして—多職種連携の口腔健康管理— 藤田医科大学医学部 歯科・口腔外科学講座 教授 松尾浩一郎 講演 1 回復期リハビリテーション病棟における看護師の立場から 藤田医科大学病院看護部 看護長 三鬼 達人 講演 2 療養型病院における医師の立場から 豊川青山病院 病院長 松井 俊和 講演 3 地域診療所における歯科衛生士の立場から エムズ歯科予防・口腔ケアクリニック 田口 知実 ・県民フォーラム「いのちと共に思うこと—頭頸部がんを経験して—」 																			

講演 1	がんを超えて生きる	サッポロビール株式会社	村本 高史
講演 2	食べることは生きること	つばめの会	荒井 里奈
・研究討論会 「口腔機能向上」のための根拠ある支援をめざして			
・ワークショップ			
①	歯科衛生研究の進め方ー研究で面倒なのは「統計処理」「倫理的配慮」どっち？ー		
②	災害時の歯科衛生管理 ーDHUG (Disaster Dental Hygiene Unei Game) IIIを体験しようー		
③	地域ケア会議 ー自立支援に役立つ具体的な助言をしよう！ー		
④	新人歯科衛生士の成長支援 Part4「新人歯科衛生士等の育成プロセスシート」の活用をめざして		
⑤	「自信をもって歯周治療を担当できる歯科衛生士」になろう！ ー歯科衛生士の業務記録を再考しようー		
⑥	認定歯科衛生士（糖尿病予防指導）のスキルアップを目指して		
・口演発表	44題		
・ポスター発表	152題		

(2) 日本歯科衛生学会雑誌の発行

VOL. 14 NO. 1 令和元年 8 月 10 日発行 発行部数 22,600 部

NO. 2 令和 2 年 2 月 10 日発行 発行部数 22,900 部

主な配布先

会員、文部科学省、厚生労働省、国会図書館、歯科大学図書館、歯科衛生士学校、関連学会、関係団体等

医学中央雑誌収載誌に登録し、データベースに収録

(3) 学会運営会議等

- ① 学会運営協議会 (令和元年 9 月 14 日)
- ② 学会幹事会 (令和元年 5 月 12 日、7 月 29 日、11 月 7 日)
- ③ 学会委員会 (企画委員会) (令和元年 5 月 12 日、9 月 3 日)
(編集委員会) (令和元年 5 月 12 日)
(総務委員会) (令和元年 5 月 9 日、5 月 20 日、9 月 16 日)
- ④ 学術表彰選考委員会 (令和元年 7 月 29 日)
- ⑤ 学術プログラム委員会 (令和元年 11 月 7 日)
- ⑥ 倫理審査委員会 (令和元年 9 月 17 日、令和 2 年 3 月 18 日)

(4) 研究助成

国民の歯科口腔保健の推進に寄与し、歯科衛生業務の発展、向上の一助とすることを目的に、研究助成を行った。

- ・歯科衛生臨床研究助成 1 名 (株式会社 YDM の協賛)

(5) その他学会の目的達成に必要なこと

II 歯科衛生の普及啓発により、国民の健康と福祉の増進に寄与する事業（公2）

1 歯科衛生の普及啓発及び広報に関する事業

(1) 歯科衛生だより（一般向け）の発行、配布（偶数月、年6回）

50号	平成31年4月1日発行、配布	25,500部
51号	令和元年6月1日発行、配布	24,700部
52号	令和元年8月1日発行、配布	28,000部
53号	令和元年10月1日発行、配布	28,400部
54号	令和元年12月1日発行、配布	28,500部
55号	令和2年2月1日発行、配布	28,600部

主な配布先

会員のほか都道府県、市区町村、全国図書館、社会福祉団体、歯科衛生士学校、歯科大学、都道府県歯科衛生士会、関係団体等

(2) 学生だよりの発行、配布

45号	令和元年7月15日発行、配布	20,500部
46号	令和2年1月15日発行、配布	30,000部

主な配布先

全国歯科衛生士学校の学生及び関係団体等

(3) 歯科衛生普及啓発用冊子等の発行、配布

(4) Webサイトによる歯科衛生情報等の配信

歯とお口の健康情報等

- 4月 「小児の口腔機能の発達と歯科における早期の支援」
「お口の乾きが気になりませんか？」
- 6月 「健康長寿のための歯・口の健康」
「歯と口の健康づくりのポイント」
- 8月 「栄養状態から考える口腔と全身の健康」
「咀嚼機能を考えよう！」
- 10月 「手品のような歯科教育 ～メンテナンス編～」
「口腔清掃で舌も健康な状態に保ちましょう ～舌苔って何？～」
- 12月 「治し支える歯科医療をめざして」
「災害に備えよう ～お口の健康編～」
- 2月 「日本子ども虐待防止歯科研究会の活動から見てきたこと」
「いつ何がおきても大丈夫なお口を作りましょう！」

Ⅲ 地域の歯科衛生活動を支援することにより、国民の健康と福祉の増進に寄与する事業（公3）

（1）地域歯科衛生活動への助成

地域における歯科口腔保健を推進するため、都道府県歯科衛生士会等が実施する地域歯科衛生活動を助成し、支援した。

本会の「地域歯科衛生活動」事業助成交付要綱に基づき、「地域歯科衛生活動」助成事業審査委員会において審査を行い、申請のあった9団体（北海道歯科衛生士会、青森県歯科衛生士会、山形県歯科衛生士会、東京都歯科衛生士会、和歌山県歯科衛生士会、鳥取県歯科衛生士会、島根県歯科衛生士会、岡山県歯科衛生士会、徳島県歯科衛生士会）における各種・地域歯科衛生活動を助成した。

実施計画は、活動内容 9項目、実施日数 40日、実施人数 3,350人、実施施設（会場）25か所、活動に参加した歯科衛生士（延）191人、歯科医師（延）2人、その他の職種（延）224人であった。活動の実施状況は、順次「歯科衛生だより」に掲載し、紹介した。

（参考資料8）

（2）災害歯科保健歯科衛生士の育成

ア 「災害歯科保健歯科衛生士フォーラム」（リーダー育成）の開催

災害歯科保健活動における歯科衛生士の実践マニュアルを活用し、都道府県歯科衛生士会における災害歯科保健活動の連携を推進するとともに、効果的な災害歯科保健活動を行うためのネットワークシステム等の構築について検討することを目的に開催した。

開催日	令和元年12月8日（日）
会場	フクラシア東京ステーション 5階
参加費	無料
参加者	82名 （内訳 都道府県歯科衛生士会災害活動担当者47名、自由参加者10名、関係者25名）
実施内容	
講演 「災害と公衆衛生活動」	国立保健医療科学院健康危機管理研究部 上席主任研究官 奥田 博子
講演・グループワーク	
「DHUG（Disaster Dental Hygiene Unei Game）Ⅲの活用」	東京医科歯科大学大学院顎顔面外科学分野 助教 中久木康一
報告 「台風19号豪雨災害における福島県歯科衛生士会の取組み」	福島県歯科衛生士会 会長 玉川 晴美
「日本歯科衛生士会災害歯科保健の取組み」	日本歯科衛生士会 常務理事 久保山裕子

イ 「ブロック別・災害歯科保健歯科衛生士フォーラム」(地域活動担当者育成)の開催

ブロック	開催日時	開催場所・参加人数	内 容	派遣役員
北海道・東北 (青森県)	R1. 11. 10(日) 9:30~12:00	八戸プラザホテル (八戸市) 27名	「DHUGの活用～避難所の初期アセスメント実地日の一日を体験する～」 講師：公益社団法人日本歯科衛生士会 常務理事 久保山裕子	副会長 茂木 美保 常務理事 武藤 智美 理事 千葉 茂美
関東信越 (東京都)	R2. 2. 9(日) 9:45~11:45	アルカディア市ヶ谷 (千代田区) 42名	「災害時の歯科保健支援演習 DHUGをやってみよう」 講師：東京医科歯科大学大学院 歯歯学 総合研究科 顎顔面外科学分野 助教 中久木康一	会長 武井 典子 専務理事 河野 章江 理事 中村 郁子
東海北陸 (静岡県)	R1. 12. 2(日) 9:30~12:00	静岡ホテル時之栖 (静岡市) 31名	「防災について」 講師：静岡県健康福祉部医療健康局 健康増進課 主査 種村 崇	副会長 茂木 美保 理事 吉澤 茂美
近 畿 (京都府)	R1. 12. 1(日) 9:15~12:00	京都テルサ (京都市) 58名	「災害時の避難所における歯科保健活動を体験するDHUGⅢ」 講師：東京医科歯科大学大学院 歯歯学 総合研究科 顎顔面外科学分野 助教 中久木康一	副会長 茂木 美保 理事 高田橋美幸
中国四国 (広島県)	R1. 10. 20(日) 9:20~12:30	広島県歯科医師会館 (広島市) 54名	「災害時の歯科保健活動DHUGⅢ」 講師：公益社団法人日本歯科衛生士会 常務理事 久保山裕子	副会長 上田 和美 理事 成行 稔子
九 州 (佐賀県)	R1. 11. 24(日) 9:00~12:15	ホテル龍登園 (佐賀市) 46名	「災害時の歯科保健活動を体験するDHUGⅢ」 講師：公益社団法人日本歯科衛生士会 常務理事 久保山裕子	副会長 上田 和美 理事 宮脇恵美子

(3) 災害時支援ネットワークシステムの整備・参画等

①災害歯科保健歯科衛生士登録等の推進

Web サイトにおいて災害歯科保健歯科衛生士登録を行い、令和2年3月31日までに271名が登録した。また、9月2日～9日に、大規模災害を想定して、Webサイトに「災害特別ページ」の練習画面を掲載し、安否確認システムに667名が登録した。

②日本歯科医師会・災害歯科保健医療連絡協議会への参画、他

IV その他事業

1 都道府県歯科衛生士会及び地区との連携、及び会員管理等に関する事業（他1）

(1) 都道府県歯科衛生士会会長の開催

日 時 令和 2 年 2 月 1 5 日 (土)

場 所 フクラシア東京ステーション 5階

出席者 都道府県歯科衛生士会会長等 81名

議 題

- 1 令和2年度事業計画（案）の概要について
- 2 eラーニングおよび認定歯科衛生士研修について
- 3 会員拡大及び組織強化に関する調査結果と今後の課題について
- 4 令和2年度「ブロック連絡協議会」実施要領について
- 5 令和2年度「ブロック別・災害歯科保健歯科衛生士フォーラム」実施要領について

報告事項

- 1 eラーニングの活用について
- 2 平成30年度「地域歯科保健活動実施状況調査報告」
- 3 歯科衛生士賠償責任保険制度総合生活保険のご案内
- 4 歯科衛生推進委員会からの報告

情報交換

「歯科衛生士の人材確保・復職支援等に関する取り組み Part II」

- ①熊本県歯科衛生士会 ②徳島県歯科衛生士会

分科会（ブロック別連絡協議会）

(2) ブロック連絡協議会開催助成

ブロック	開催日時	開催場所・参加人数	内 容	派遣役員
北海道・東北 (青森県)	R1.11.16 (土) 13:50~16:30	八戸プラザホテル (八戸市) 21名	<p>「日本歯科衛生士会からの報告事項」 公益社団法人日本歯科衛生士会 副会長 茂木美保</p> <p>・ディスカッション テーマ「本当の意味での組織拡大」</p> <p>・各会報告</p> <p>・情報交換</p> <p>① 災害時の身分保障について</p> <p>② 他医療職種、介護職種との連携について</p> <p>③ 地域ケア会議への出席状況やその他の連携について ブロック理事推薦に関すること</p> <p>④ 法人化後の会計処理（納税事務等）について ブロック内で協議を要する課題等について</p> <p>⑤ 研修会企画運営における実態（主催、予算、会費等）について</p> <p>⑥ ホームページの活用（工夫点等）について</p> <p>⑦ 道県独自の表彰制度（永年、功労等）の規程、細則等について</p> <p>⑧ 歯科衛生士単独で経営、開設しているデンタルエステ等の情報について</p> <p>・次年度ブロック連絡協議会及びブロックフォーラムについて</p>	<p>副会長 茂木 美保</p> <p>常務理事 武藤 智美</p> <p>理事 千葉 茂美</p>

関東信越 (東京都)	R2.2.9(日) 13:00~15:30	アルカディア市ヶ谷 (千代田区) 34名	「歯科衛生士を取り巻く環境の変化と対応 ~歯科衛生士力を高めて社会ニーズに応えるために」 公益社団法人日本歯科衛生士会 会長 武井典子 ・日本歯科衛生士会報告 ・協議事項 ① 定年について ② 入会手続きについて	会長 武井 典子 専務理事 河野 章江 理事 中村 郁子
東海北陸 (静岡県)	R1.11.9(土) 14:00~17:00	静岡ホテル時之栖 (静岡市) 28名	「歯科衛生士を取り巻く環境の変化と対応」公益社団法人日本歯科衛生士会 副会長 茂木美保 ・日本歯科衛生士会報告 ・意見交換 テーマ「本当の意味での組織拡大」 ① 都道府県会の事務局体制(会員登録・会費徴収等)を強化するために ② 学生会員への入会促進を強化するために ③ 数年で退会させないための対応は ④ 非会員歯科衛生士を会員にするために ・次年度ブロック連絡協議会及びブロックフォーラムについて	副会長 茂木 美保 理事 吉澤 茂美
近畿 (京都府)	R1.11.30(日) 13:30~16:30	京都テルサ (京都市) 25名	「日本歯科衛生士会からの情報提供」 公益社団法人日本歯科衛生士会 副会長 茂木美保 ・日本歯科衛生士会報告 ・ディスカッション テーマ「本当の意味での組織拡大」 ・協議事項 ① 次年度ブロック連絡協議会開催について ② 次年度ブロック連絡協議会予算について ・情報交換	副会長 茂木 美保 理事 高田橋美幸
中国四国 (広島県)	R1.10.19(土) 13:30~17:00	広島県歯科医師会館 (広島市) 32名	「日本歯科衛生士会からの情報提供」 公益社団法人日本歯科衛生士会 副会長 上田和美 ・日本歯科衛生士会報告 ・情報提供 ・協議事項 会員拡大と組織強化に向けて ・紹介事項 ・次年度ブロック連絡協議会及びブロックフォーラムについて	副会長 上田 和美 理事 成行 稔子
九州 (佐賀県)	R1.11.23(土) 15:30~18:30	ホテル龍登園 (佐賀市) 26名	日本歯科衛生士会からの情報提供 公益社団法人日本歯科衛生士会 副会長 上田和美 ・日本歯科衛生士会報告 ・ディスカッション テーマ「本当の意味での組織拡大」 ・協議事項 ① 平成30年度事業報告並びに収支決算(案)について	副会長 上田 和美 理事 宮脇恵美子

			② 令和元年度事業計画(案)並びに収支 予算(案)について ③ ブロック内で協議を要する課題等 について ④ 次年度ブロック連絡協議会及びブ ロックフォーラム日程について ・照会事項	
--	--	--	---	--

(3) 会員拡大・管理・育成に関すること

① 歯科衛生士だより会報の発行、配布

50号	平成31年4月1日発行、配布	20,000部
51号	令和元年6月1日発行、配布	19,200部
52号	令和元年8月1日発行、配布	22,500部
53号	令和元年10月1日発行、配布	22,900部
54号	令和元年12月1日発行、配布	23,000部
55号	令和2年2月1日発行、配布	23,100部

主な配布先 会員、関係団体等

② 会員証の発行、配布

③ 歯科衛生士手帳の発行、配布

発行部数 22,200部

主な配布先 会員、関係団体等

④ 会員表彰

(正会員表彰) 功労賞 26名、永年精励賞 56名 (参考資料9)

(学生会員表彰) 96校 96名

⑤ その他会員拡大・管理・育成に必要なこと

- ・入会案内の作成・配布等
- ・災害時における会員の安否確認システム(再掲)

(4) 歯科衛生士の人材確保・復職支援に関すること

① 歯科衛生士の復職支援・離職防止等に関する運営委員会(東京医科歯科大学、大阪歯科大学、広島大学)への参画

② 歯科衛生士復職支援対策連絡協議会(日本歯科医師会)への参画

2 会員の相互扶助に関すること(他2)

(1) 会員福祉規程に基づく死亡弔慰金、見舞金の給付

死亡弔慰金 10件、災害見舞金 7件、入院見舞金 43件

台風15号及び19号被災会員の特例(災害見舞金 6件)

(2) 団体保険の紹介(傷害保険、賠償責任保険)

加入者

傷害保険 251人 賠償責任保険 2,102人(令和元年度 延人数)

V その他本会の目的達成のために必要なこと

- (1) 関係省庁との連携・協力
- (2) 関係団体との連携・協力
- (3) 要望書提出

厚生労働省及び関係者等に「令和2年度予算・制度等に関する要望について」、「令和2年度歯科診療報酬改定等に関する要望について」を提出した。

(参考資料10)

- (4) 関係省庁、関係団体の役員、委員等

一般財団法人歯科医療振興財団	理事	武井 典子
	監事	松田 智子
	評議員	上田 和美
歯科衛生士試験委員選考委員会	委員	吉田 直美
企画評価委員会	委員	吉田 直美
歯科衛生士国家試験制度改善検討部会	委員	武井 典子
		吉田 直美
公益財団法人 8020 推進財団	理事	武井 典子
公益財団法人国際医療技術財団	評議員	武井 典子
国際歯科衛生士連盟 (IFDH)	代議員	武井 典子
代議員 (令和元年9月まで)		吉田 直美
代議員 (令和元年10月から)		小原 由紀
公益社団法人日本歯科医師会		
災害歯科保健医療連絡協議会		武井 典子
		上田 和美
日本在宅歯科医療・介護連携推進連絡協議会		武井 典子
2040年を見据えた歯科ビジョン検討会	委員	武井 典子
母子保健推進会議	「8020の里賞」審査委員	小前みどり
特定非営利活動法人日本歯周病学会歯科衛生士関連委員会		
	日本歯科衛生士会選出委員	茂木 美保
日本スポーツ歯科医学会		
	日本歯科衛生士会選出理事 (令和元年6月まで)	茂木 美保
	日本歯科衛生士会選出理事 (令和元年7月から)	河野 章江
日本障害者歯科学会 災害支援委員会	委員	久保山裕子
公益財団法人ライオン歯科衛生研究所		
	評議員選定委員会委員	河野 章江
チーム医療推進協議会	団体代表	武井 典子
	委員	武藤 智美
(日本歯科専門医機構)		
専門医申請学会評価認定委員会	委員	武井 典子
専門医制度整備委員会学会専門医小委員会	委員	吉田 直美
専門医制度総務委員会	委員	立澤 敦子
国際歯科医療安全機構	理事	武井 典子

(厚生労働省)

歯科健康診査推進事業に係る検討会	委員	武井 典子
口腔保健に関する予防強化推進モデルに係る研究等一式		
	委員	茂木 美保
う蝕対策等歯科口腔保健の推進に係る調査等一式	委員	茂木 美保

(5) 加入団体及び後援協力事業

参考資料11に記載のとおり

VI 諸 会 議

1 代議員会

定時代議員会

日 時	令和元年 6 月 16 日 (日)
場 所	ステーションコンファレンス東京 501
会議の成立	代議員総数 89名 出席代議員 89名 (うち委任状提出2名) 出席理事数 20名 出席監事数 2名 出席顧問数 1名
議 長	鈴木 幸江 (神奈川県)
副 議 長	晴山婦美子 (岩手県)
議事録署名人	橋場 佳子 (大阪府)、天本 和子 (福岡県)
議 事	第1号議案 理事及び監事の選任に関する件 第2号議案 平成30年度事業報告(案)に関する件 第3号議案 平成30年度決算報告(案)に関する件 第4号議案 歯科衛生士の倫理綱領(案)に関する件 第5号議案 会長候補者の選定に関する件

2 理 事 会

開 催 日	開催場所	出席者
(第1回) R元. 5 . 19	日本歯科衛生士会会議室	理事18名、監事2名、顧問1名
(臨 時) R元. 6 . 16	ステーションコンファレンス東京 501	理事20名、監事2名、顧問等3名
(第2回) R元. 7 . 7	日本歯科衛生士会会議室	理事20名、監事2名、顧問等3名
(第3回) R元. 10 . 6	日本歯科衛生士会会議室	理事20名、監事2名、顧問等3名
(第4回) R元. 12 . 7	日本歯科衛生士会会議室	理事20名、監事1名、顧問等2名
(第5回) R2 . 1 . 19	日本歯科衛生士会会議室	理事20名、監事2名、顧問等2名
(第6回) 決議の省略		

*第6回理事会は、令和2年3月15日に開催を予定していたが新型コロナウイルス感染症の蔓延のため、定足数を満たさない事態となり中止した。そのため、「理事会の決議の目的である事項」について、定款第37条第2項の規定に基づき、代表理事(会長)から「決

議の省略」を役員に提案し、理事全員の同意及び監事に異議がないことを確認し、理事会の決議があったものとみなされた。

議事内容

第1回理事会（令和元年 5 月 19 日）

- ・平成30年度事業報告（案）について
- ・平成30年度決算報告（案）について
- ・平成30年度特定費用準備資金等の積立について
関連事項：【会計及び財務管理規程の別表の改正】
- ・平成30年度事業報告に係る提出書（内閣府）について
- ・令和元年度定時代議員会議案の概要（代議員会運営規則第2条第1項第7号イ及び第2項関連）について
- ・第9回歯科衛生士の勤務実態調査について
①業務委託先について ②調査委員会委員について
- ・役員倫理規程について
- ・第21回歯科衛生国際シンポジウム及び2019HoD会議について
- ・令和元年度全国病院歯科衛生士連絡協議会実施要領（案）について
- ・第64回日本口腔外科学会総会・学術大会「第13回歯科衛生士研究会」について
- ・令和元年度会長表彰について
- ・新入会員の承認について
- ・事務局長の再任について

臨時理事会（令和元年 6 月 16 日）

- ・代表理事の選定について
- ・業務執行理事（副会長、専務理事、常務理事）の選定及び理事の職務分掌について
- ・学会長の選任について
- ・関係団体等への出向役員、委員等について
- ・顧問の委嘱について
- ・学会顧問の委嘱について
- ・各種委員会委員について

第2回理事会（令和元年7月7日）

- ・令和2年度予算・制度等に関する要望について
- ・委員会規程の一部改正について
【関連事項：定款施行規程の一部改正】
- ・令和元年度歯科衛生士復職支援・離職防止等研修指導者養成研修等事業について
- ・災害への対応について
- ・新入会員の承認について

第3回理事会（令和元年10月6日）

- ・令和元年度災害歯科保健歯科衛生士フォーラムの開催について
- ・令和元年度都道府県歯科衛生士会会長会の開催について
- ・令和元年度歯科衛生推進フォーラムの開催について
- ・日本歯科衛生学会第16回（令和3年）学術大会開催担当都道府県会及び大会長について
- ・第9回歯科衛生士の勤務実態調査（案）について
- ・「研修指導者・臨床実地指導者等講習会」修了者へのアンケート（案）について
- ・委員の委嘱について
- ・認定分野の新設について

認定分野「歯科医療安全管理」コースの実施について

- ・ 終身会員の承認について
- ・ 新入会員の承認について
- ・ 歯科衛生士賠償責任保険制度（賠償責任保険、総合生活保険）の保険料改定について

第4回理事会（令和元年12月7日）

- ・ 令和2年度ブロック連絡協議会実施要領（案）について
- ・ 令和2年度ブロック別・災害歯科保健歯科衛生士フォーラム実施要領（案）について
- ・ 令和2年度認定歯科衛生士セミナー実施計画（案）について
- ・ 令和2年度「地域歯科衛生活動」事業助成交付要項（案）について
- ・ 令和2年度事業計画の概要（案）について
- ・ 台風15号、19号の被災会員に対する災害見舞金の特例措置について
- ・ 第23回感染症予防歯科衛生士講習会実施要領（案）について
- ・ 委員の委嘱について
- ・ 新入会員の承認について

第5回理事会（令和2年1月19日）

- ・ 令和2年度常任委員会重点課題（案）について
- ・ 令和2年度事業計画（案）について
- ・ 令和2年度収支予算（内訳書）案について
- ・ 規則・規程の一部改正について
- ・ 認定歯科衛生士「認定分野B」の申請について
- ・ 第5次生涯研修制度実施要綱の一部改正について
- ・ eラーニング研修の実施要領の一部改正について
- ・ 認定歯科衛生士制度施行細則の一部改正について
- ・ 新入会員の承認について

第6回理事会（理事会の決議があったものとみなされた日 令和2年3月23日）

- ・ 令和2年度常任委員会の重点課題（案）について
- ・ 令和2年度事業計画（案）について
- ・ 令和2年度収支予算（案）について
- ・ 令和2年度職員給与について
- ・ 令和2年度資金調達及び設備投資の見込みについて
- ・ 新入会員の承認について

3 常任委員会・専門委員会

委員会名	開催日	
(常任委員会) 生涯研修委員会	第1回	平成31年4月13日
	第2回	令和元年6月29日
	第3回	9月28日
	第4回	令和2年1月12日
生涯研修、認定歯科衛生士 合同委員会	第1回	令和2年1月12日
認定歯科衛生士委員会	第1回	平成31年4月14日
	第2回	令和元年12月1日
	第3回	令和2年1月12日
	第4回	2月9日
歯科衛生推進委員会		

病院委員会	第1回 第2回 第3回 第4回	平成31年4月14日 令和元年7月21日 8月31日 12月1日
診療所委員会	第1回 第2回 第3回 第4回	令和元年5月12日 7月20日 8月24日 12月1日
病院、診療所合同委員会	第1回	令和元年12月1日
地域歯科保健委員会	第1回 第2回 第3回 第4回	平成31年4月13日 令和元年7月6日 9月28日 令和2年1月11日
教育養成委員会	第1回 第2回 第3回 第4回	令和元年5月18日 8月3日 11月2日 令和2年2月1日
在宅・施設口腔健康管理委員会	第1回 第2回 第3回 第4回	令和元年6月15日 8月3日 11月16日 令和2年1月18日
災害歯科保健委員会	第1回 第2回	令和元年8月4日 11月24日
広報委員会	第1回 第2回 第3回 第4回	平成31年4月24日 令和元年8月22日 10月24日 令和2年1月30日
国際協力委員会	第1回	令和元年10月20日
組織委員会 拡大組織委員会	第1回 第2回 第3回 第4回	令和元年5月18日 7月6日 10月6日 令和2年1月19日
表彰審査会	第1回 第2回 第3回	平成31年4月14日 令和元年9月13日 令和2年2月7日
(専門委員会) 認定歯科衛生士審査会	第1回 第2回	令和元年11月10日 令和2年2月8日
医療連携歯科衛生士委員会	第1回	令和元年7月6日
「地域歯科衛生活動」助成事業審査委員会	第1回	令和元年5月18日
生涯研修プログラム向上委員会	第1回	令和元年4月13日
調査委員会	第1回 第2回 第3回 第4回	令和元年6月3日 8月30日 令和2年2月19日 3月4日

(日本歯科衛生学会委員会等) 学会幹事会	第1回 第2回 第3回	令和元年 5月12日 7月29日 11月7日
学会委員会 企画委員会	第1回 第2回	令和元年 5月12日 9月3日
編集委員会	第1回	令和元年 5月12日
学会運営協議会	第1回	令和元年 9月14日
学術プログラム委員会	第1回	令和元年 11月7日
学術表彰選考委員会	第1回	令和元年 7月29日
倫理審査委員会	第1回 第2回	令和元年 9月17日 令和2年 3月18日

(参考資料3)

Ⅶ 監 査

事業及び会計監査

第1回

開催日 令和元年 5月15日(水)
開催場所 本会会議室
監査対象期間 平成30年度、平成31年2月～3月
出席者 松田監事、今村監事
武井会長、上田副会長、吉田副会長、茂木専務理事、根岸常務理事

第2回

開催日 令和元年 9月6日(金)
開催場所 本会会議室
監査対象期間 平成31年4月～令和元年7月
出席者 渡邊監事、今村監事
武井会長、河野専務理事、根岸常務理事、松田顧問

第3回

開催日 令和元年12月20日(金)
開催場所 本会会議室
監査対象期間 令和元年8月～10月
出席者 渡邊監事、今村監事
茂木副会長、河野専務理事、松田顧問

第4回

開催日 令和2年 2月21日(金)
開催場所 本会会議室
監査対象期間 令和元年11月～令和2年1月
出席者 渡邊監事、今村監事
武井会長、河野専務理事、根岸常務理事、松田顧問

参考資料 1

I 会員の状況 (令和2年3月31日現在)

1 会 員 22,422名(社含む)

正 会 員 17,026名
 [正 会 員 16,959名
 正 会 員 (名誉会員) 6名
 正 会 員 (終身会員) 61名]

準 会 員 5,396名(社含む)
 [学 生 会 員 5,239名
 第 二 会 員 128名
 賛 助 会 員 29社]

名誉会員 (6名)
 今井 徳 (東京都)
 佐々木富美子 (大阪府)
 百束 雅子 (千葉県)
 森 玲子 (茨城県)
 小林キクイ (新潟県)
 金澤 紀子 (東京都)

終身会員 (61名)
 北海道 3名、青森県 1名
 岩手県 2名、秋田県 2名
 山形県 1名、福島県 1名
 茨城県 3名、群馬県 1名
 埼玉県 1名、千葉県 4名
 東京都 6名、神奈川県 2名
 静岡県 1名、愛知県 1名
 三重県 1名、滋賀県 1名
 京都府 3名、大阪府 7名
 兵庫県 1名、和歌山県 1名
 鳥取県 1名、岡山県 4名
 広島県 3名、山口県 1名
 香川県 1名、愛媛県 1名
 高知県 1名、福岡県 2名
 熊本県 1名、大分県 2名
 鹿児島県 1名

物故会員 (14名)
 中上 久美子 (香川県)
 北村 智美 (宮城県)
 室谷 光子 (富山県)
 杉本 明美 (広島県)
 佐伯 博子 (山口県)
 金子 美紀 (群馬県)
 福澤 ゆき子 (長野県)
 中村 君恵 (千葉県)
 伊藤 美子 (大阪府)
 畠山 佳美 (北海道)
 森 玲子 (茨城県)
 清貞 孝子 (福岡県)
 相良 敬子 (山梨県)
 佐藤二三江 (東京都)

正会員の都道府県会別内訳

都道府県	継続会員	新入会員	R2.3.31
北海道	611	70	681
青森県	105	7	112
岩手県	225	12	237
宮城県	192	28	220
秋田県	86	1	87
山形県	139	10	149
福島県	283	22	305
茨城県	256	13	269
栃木県	150	6	156
群馬県	335	28	363
埼玉県	420	17	437
千葉県	434	38	472
東京都	1,074	124	1,198
神奈川県	546	36	582
山梨県	127	14	141
長野県	447	93	540
新潟県	514	29	543
富山県	122	4	126
石川県	123	56	179
福井県	77	2	79
岐阜県	363	26	389
静岡県	474	37	511
愛知県	974	72	1,046
三重県	308	18	326
滋賀県	188	9	197
京都府	326	20	346
大阪府	981	102	1,083
兵庫県	1,097	243	1,340
奈良県	165	6	171
和歌山県	114	14	128
鳥取県	106	3	109
島根県	220	7	227
岡山県	331	15	346
広島県	434	35	469
山口県	205	53	258
徳島県	158	19	177
香川県	304	9	313
愛媛県	184	44	228
高知県	150	13	163
福岡県	599	51	650
佐賀県	146	11	157
長崎県	188	53	241
熊本県	476	43	519
大分県	218	20	238
宮崎県	76	6	82
鹿児島県	172	21	193
沖縄県	195	48	243
計	15,418	1,608	17,026

学生会員加入校および学生会員数

令和2年3月31日現在 110校

都道府県	No	学 校 名	1年	2年	3年	4年	大学院等	計
北海道	1	旭川歯科学院専門学校 歯科衛生士科			43			43
	2	池見札幌歯科衛生士専門学校			5			5
	3	北海道医療大学歯学部附属歯科衛生士専門学校		1	4			5
	4	小樽歯科衛生士専門学校 歯科衛生士科	23	20	15			58
	5	北海道ハイテクノロジー専門学校 歯科衛生士学科	18	12	15			45
	6	札幌医学技術福祉歯科専門学校 歯科衛生士科		2	1			3
	7	吉田学園医療歯科専門学校 歯科衛生学科	44	52	44			140
	8	北海道歯科衛生士専門学校	2	4	1			7
	9	オホーツク社会福祉専門学校 歯科衛生士科		8	23			31
	10	札幌歯科学院専門学校 歯科衛生士科			3			3
青森県	11	八戸保健医療専門学校 歯科衛生士学科			1			1
岩手県	12	岩手医科大学医療専門学校 歯科衛生学科	5	1	23			29
福島県	13	福島医療専門学校 歯科衛生士科	65	58	54			177
	14	福島県立総合衛生学院 歯科衛生学科			14			14
	15	東北歯科専門学校 歯科衛生士科			30			30
茨城県	16	茨城歯科専門学校 歯科衛生士科	53	49	39			141
	17	つくば歯科衛生専門学校	19	22	30			71
	18	取手歯科衛生士専門学校 歯科衛生士科	43	35	35			113
栃木県	19	栃木県立衛生福祉大学校歯科技術学部 歯科衛生学科			28			28
群馬県	20	中央医療歯科専門学校 太田校 歯科衛生士学科			31			31
	21	中央医療歯科専門学校 高崎校 歯科衛生士学科			35			35
	22	太田医療技術専門学校 歯科衛生学科			56			56
埼玉県	23	葵メディカルアカデミー 歯科衛生科			22			22
	24	埼玉県立大学 保健医療福祉学部健康開発学科 口腔保健科学専攻				3		3
千葉県	25	北原学院歯科衛生専門学校			126			126
	26	千葉県立保健医療大学 健康科学部 歯科衛生学科				9		9
東京都	27	専門学校首都医校 歯科衛生学科			1			1
	28	日本大学歯学部附属歯科衛生専門学校			37			37
	29	東京歯科衛生専門学校			2			2
	30	東京医薬専門学校 歯科衛生士科		1				1
	31	東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻		3	2	9		14
	32	新東京歯科衛生専門学校		1	5			6
	33	東京歯科大学短期大学 歯科衛生学科			48			48
神奈川県	34	横浜歯科医療専門学校 歯科衛生士学科	2	7	5			14
	35	新横浜歯科衛生士専門学校	47	38	40			125
	36	湘南歯科衛生士専門学校			29			29
	37	鶴見大学短期大学部 歯科衛生科		1	3			4
山梨県	38	山梨県歯科衛生専門学校			40			40
長野県	39	長野県公衆衛生専門学校 歯科衛生士科			19			19
	40	松本歯科大学衛生学院 歯科衛生士学科			23			23
	41	長野医療衛生専門学校 歯科衛生士学科			11			11
	42	長野平青学園 歯科衛生士科			24			24
新潟県	43	明倫短期大学 歯科衛生士学科			51			51

新潟県	44	日本歯科大学新潟短期大学 歯科衛生学科			4			4
富山県	45	富山歯科総合学院 歯科衛生士科			41			41
石川県	46	石川県歯科医師会立歯科医療専門学校 歯科衛生士科			55			55
岐阜県	47	岐阜県立衛生専門学校 歯科衛生学科			19			19
	48	朝日大学歯科衛生士専門学校			77			77
	49	大垣女子短期大学 歯科衛生科			46			46
静岡県	50	中央医療健康大学校 歯科衛生学科			32			32
	51	中央歯科衛生士調理製菓専門学校 歯科衛生士科			30			30
	52	浜松医療福祉専門学校 歯科衛生士科			35			35
	53	浜松歯科衛生士専門学校			44			44
愛知県	54	愛知学院大学短期大学部 専攻科					7	7
	55	ナゴノ福祉歯科医療専門学校			70			70
	56	名古屋市歯科医師会附属歯科衛生士専門学校			35			35
	57	三河歯科衛生専門学校			41			41
	58	名古屋ユマニテク歯科製菓専門学校			60			60
	59	慈恵歯科医療ファッション専門学校	33	23	17			73
	60	名古屋医健スポーツ専門学校 歯科衛生科			36			36
三重県	61	三重県立公衆衛生学院 歯科衛生学科			30			30
	62	伊勢保健衛生専門学校 歯科衛生学科			21			21
	63	ユマニテク医療福祉大学校 歯科衛生学科		22	32			54
滋賀県	64	滋賀県立総合保健専門学校 歯科衛生学科			3			3
京都府	65	京都歯科医療技術専門学校 衛生士科			5			5
	66	京都文化医療専門学校	5	1	3			9
大阪府	67	行岡医学技術専門学校 歯科衛生科	48	47	50			145
	68	大阪歯科学院専門学校 歯科衛生士学科			54			54
	69	太成学院大学歯科衛生専門学校	31	5	1			37
	70	大阪府歯科医師会附属歯科衛生士専門学	1		74			75
	71	大阪歯科衛生士専門学校			1			1
	72	堺歯科衛生士専門学校			43			43
	73	新大阪歯科衛生士専門学校	136	118	122			376
	74	大阪歯科大学ス両保健学部 口腔保健学科			6			6
	75	関西女子短期大学 歯科衛生学科	6	1	2			9
	76	なにわ歯科衛生専門学校			108			108
77	梅花女子大学 看護保健学部 口腔保健学科			3	8		11	
兵庫県	78	兵庫県立総合衛生学院 歯科衛生学科			42	38		80
	79	兵庫県歯科医師会附属兵庫歯科衛生士学院			76	88		164
	80	姫路歯科衛生専門学校			28	42		70
	81	神戸常盤大学短期大学 口腔保健学科			13	10		23
和歌山県	82	和歌山県歯科衛生士専門学校	35	36	33			104
鳥取県	83	鳥取県立歯科衛生専門学校			25			25
島根県	84	島根県歯科技術専門学校 歯科衛生士か	31	42	36			109
岡山県	85	朝日医療大学校 歯科衛生学科	53	43	49			145
	86	インターナショナル岡山歯科衛生専門学校	40	42	45			127
広島県	87	広島高等歯科衛生士専門学校			51			51
	88	広島大学歯学部口腔健康科学口腔保健学専攻				21		21
	89	広島デンタルアカデミー専門学校	5					5
徳島県	90	徳島歯科学院専門学校 歯科衛生士科		26	30			56
	91	四国歯科衛生士学院専門学校			22			22

徳島県	92	徳島大学歯学部 口腔保健学科			15	14	3	32
	93	穴吹福祉医療カレッジ 歯科衛生士学科			17			17
香川県	94	香川県歯科医療専門学校 衛生士科		54	48			102
	95	穴吹医療大学校 歯科衛生学科			25			25
愛媛県	96	河原医療大学校 歯科衛生学科	41	36	37			114
	97	松山歯科衛生士専門学校 歯科衛生学科		41	32			73
福岡県	98	福岡歯科衛生専門学校	1		2			3
	99	博多メディカル専門学校 歯科衛生士科		1	54			55
	100	福岡医療短期大学 歯科衛生学科	5	2				7
	101	九州医療スポーツ専門学校 歯科衛生士科	1					1
	102	九州歯科大学歯学部口腔保健学科	22	23	21	26		92
	103	福岡医健・スポーツ専門学校 歯科衛生士科			35			35
佐賀県	104	佐賀歯科衛生専門学校	41	32	26			99
長崎県	105	九州文化学園歯科衛生士学院			33			33
	106	長崎歯科衛生士専門学校 歯科衛生士科			47			47
熊本県	107	熊本歯科技術専門学校 歯科衛生士科			25			25
鹿児島県	108	鹿児島歯科学院専門学校 歯科衛生士科			45			45
	109	鹿児島医療福祉専門学校 歯科衛生学科			28			28
沖縄県	110	沖縄歯科衛生士学校			37			37
計			856	1069	3214	90	10	5239

賛助会員名簿

令和2年3年31日現在

No.	会社名	住所
1	医歯薬出版株式会社	東京都文京区本駒込1-7-10
2	一世印刷株式会社	東京都新宿区下落合2-6-22
3	ウエルテック株式会社	大阪府大阪市北区豊崎3-19-3
4	有限会社佐々木広告社	東京都文京区本駒込1-11-5
5	サンスター株式会社	大阪府大阪市中央区今橋1-3-3
6	株式会社ジーシー	東京都文京区本郷3-2-14
7	株式会社松風	京都府京都市東山区福稲上高松町11
8	昭和薬品化工株式会社	東京都中央区京橋2-17-11 三栄ビル別館4階
9	ジョンソン・エンド・ジョンソン 株式会社コンシューマカンパニー	東京都千代田区西神田3-5-2
10	ゾンネボード製薬株式会社	東京都八王子市散田町5-7-14
11	タカラベルモント株式会社	東京都港区赤坂7-1-19
12	株式会社ニッシン	東京都台東区台東4-14-8
13	ヒューフレディ・ジャパン合同会社	東京都千代田区外神田6-13-10 プロステック秋葉原6F
14	株式会社モリタ	大阪府吹田市垂水町3-33-18
15	株式会社ヨシダ	東京都台東区上野7-6-9
16	ライオン歯科材株式会社	東京都墨田区本所1-3-7
17	株式会社YDM	東京都北区田端6-5-20
18	小林製薬株式会社	大阪府茨木市豊川1-30-3
19	株式会社グッピーズ	東京都新宿区西新宿1-25-1-13F
20	グラクソ・スミスクライン・コンシューマ ・ヘルスケア・ジャパン株式会社	東京都港区赤坂1-8-1 赤坂インターシティAIR
21	株式会社クオキャリア	東京都豊島区南大塚3-46-3 いちご大塚ビル6F
22	プロクター・アンド・ギャンブル・ジャ パン株式会社	東京都中央区京橋2-2-1 京橋エドグラン15階
23	株式会社ピカッシュ	熊本県菊池郡菊陽町原水2849-1
24	株式会社ジェイ・エム・エス	東京都品川区南大井1-13-5 新南大井ビル
25	株式会社クリニコ	東京都目黒区目黒4-4-22
26	日本歯科薬品株式会社	山口県下関市西入江町2-5
27	クロスフィールド株式会社	東京都墨田区江東橋1-3-6
28	長田電機工業株式会社	東京都品川区西五反田5-17-5
29	株式会社デンタルダイヤモンド社	東京都文京区本郷3-2-15 新興ビル

II 理事、監事、代議員、顧問、職員

1 理事

会長	武井 典子	
副会長	上田 和美	(認定研修、教育養成、歯科衛生推進フォーラム、会長会)
	茂木 美保	(生涯研修、地域歯科保健、会長会)
専務理事	河野 章江	(広報、組織、総務、会長会、調査、指導者等講習会)
常務理事	久保山裕子	(災害歯科保健、在宅・施設口腔健康管理)
	根岸 麻理	(財務)
	武藤 智美	(病院・診療所、医療連携)
	浪岡多津子	(生涯研修)
	山口 朱見	(在宅・施設口腔健康管理)
理事	小原 由紀	(学会、国際協力)
	伊藤真知子	(広報)
	吉本 美枝	(認定研修)
	関口 洋子	(教育養成)
	小前みどり	(地域歯科保健)
	千葉 茂美	(組織)
	中村 郁子	(組織)
	吉澤 茂美	(組織、在宅・施設口腔健康管理)
	高田橋美幸	(組織)
	成行 稔子	(組織)
	宮脇恵美子	(組織)

2 監事

会員	渡邊 洋子
会員外	今村 敬

3 代議員 89名 別紙 代議員名簿のとおり

4 顧問

会員	金澤 紀子
会員	松田 智子
弁護士	宮武 洋吉
税理士	小林 広樹

5 学会顧問

東京歯科大学短期大学学長	石井 拓男
千葉県立保健医療大学教授	大川 由一
東京医科歯科大学名誉教授	和泉 雄一
新潟大学名誉教授	宮崎 秀夫

6 事務職員

事務局長	村上 安昭
主任	鈴木 恵子
係員	柴崎 昌子 中川 恵美 新垣 利絵 増田 望
	小林ノリヨ (パート職員から令和元年7月1日採用)
パート職員	林 かな子 (週2日)

代 議 員 名 簿

令和2年3月31日現在

会 名	代 議 員	備 考	会 名	代 議 員	備 考
北海道	市川 智 恵		愛知県	渡 邊 理 沙	
	川 平 景 子			森 下 志 穂	
	末 永 智 美		三重県	笹 間 滋 代	
青森県	田名辺 裕 子		滋賀県	丹 羽 友 美	
岩手県	晴 山 婦美子		京都府	村 西 加寿美	
宮城県	人 見 早 苗			谷 内 妙 子	
秋田県	甫 仮 貴 子		橋 本 美 影		
山形県	小 野 淑 子		大阪府	永 田 節 子	
福島県	玉 川 春 美			郡 一 美	
茨城県	芹 澤 鏡 子			橋 場 佳 子	
	岩 村 昌 子			品 田 和 子	
栃木県	林 幸 子			山 口 千 里	
群馬県	入 山 久美子		兵庫県	榎 村 實 枝	
	石 川 博 美			花 房 千重美	
埼玉県	大久保 喜恵子			高 橋 千 鶴	
	富 永 悦 子			岩 崎 小百合	
千葉県	岡 部 明 子			石 井 美 和	
	時 田 一 枝		清 水 豊 子		
東京都	細 田 江美子		奈良県	吉 福 美 香	
	関 口 晴 子		和歌山県	山 下 千 穂	
	藤 山 美 里		鳥取県	石 井 奈 美	
	佐 藤 祥 子		島根県	安 部 美智野	
	佐 藤 静 香		岡山県	杉 山 珠 美	
小 暮 弘 子		三 浦 留 美			
神奈川県	鈴 木 幸 江		広島県	倉 本 晶 子	
	打 矢 純 子			中 井 美佐子	
	渡 邊 月 子		山口県	田中丸 初 子	
山梨県	永 井 鈴 美		徳島県	河 野 美枝子	
長野県	宮 嶋 典 子		香川県	木 戸 みどり	
	宮 澤 真 弓			松 尾 明 美	
	太 田 あつこ		愛媛県	松 井 寛 子	
新潟県	高 橋 純 子		高知県	植 田 彩 子	
	柴 田 佐都子		福岡県	天 本 和 子	
	薄 波 清 美			岩 男 好 恵	
富山県	山 田 尚 代			松 永 真理子	
石川県	須 貝 美 夏		佐賀県	八 木 浩 子	
福井県	坂 本 陽 子		長崎県	田 中 朝 子	
岐阜県	藤 井 重 子		熊本県	坂 本 由 美	
	奥 村 美 雪			中 園 真由美	
静岡県	金 森 麻依子			越 川 由 紀	
	森 野 智 子		大分県	有 松 ひとみ	
	井 村 典 子		宮崎県	下 池 光	
愛知県	水 草 あゆみ		鹿児島県	下 川 真 弓	
	金 森 いづみ		沖縄県	比 嘉 香恵子	
	柴 田 享 子				

参考資料3

常任委員会等名簿

1) 常任委員会・専門委員会

令和2年3月31日現在

委員会名	委員名
(常任委員会) 生涯研修委員会	◎浪岡多津子(常務理事)、○山本 智美(静岡県)、横田 忍(大阪府) 佐藤 伸子(東京都)、伊藤 美香(山梨県)、山中由美子(千葉県)
認定歯科衛生士委員会	◎吉本 美枝(理事)、○須山 弘子(東京都)、○水上 美樹(東京都) 小山 圭子(東京都)、三橋千代子(千葉県)、白井 正子(東京都) 清水けふ子(埼玉県)、金子 信子(大阪府)、佐藤 陽子(宮城県) 柴田 享子(愛知県)、田中 祐子(東京都)、大屋 朋子(千葉県) 重富 照子(福岡県)、森本みどり(徳島県)、石黒 幸枝(滋賀県)
歯科衛生推進委員会 病院委員会	◎武藤 智美(常務理事)、山本 伸子(滋賀県)、池上由美子(東京都) 古川由美子(熊本県)、尾形 祐己(大阪府)、大屋 朋子(千葉県)
診療所委員会	◎武藤 智美(常務理事)、○小林 明子(東京都)、小森 朋栄(東京都) 村上 恵子(東京都)、寒河江夏子(千葉県)、渡邊 奈菜(静岡県)
地域歯科保健委員会	◎小前みどり(理事)、○安部美智野(島根県)、吉原佐智子(神奈川県) 長 優子(東京都)、中村 恵奈(愛知県)、玉川 春美(福島県)
教育養成委員会	◎関口 洋子(理事)、井出 桃(神奈川県)、佐塚真理子(静岡県) 島谷 和恵(東京都)、福田 弘美(岡山県)、菅野 亜紀(東京都)
在宅・施設口腔健康 管理委員会	◎山口 朱見(常務理事)、久保山裕子(常務理事)、吉澤 茂美(理事) ○篠原 弓月(東京都)、松尾 由佳(奈良県)、原口 公子(福岡県)
災害歯科保健委員会	◎久保山裕子(常務理事)、小前みどり(理事)、宮脇恵美子(理事) 水内 志穂(東京都)、原口 公子(福岡県)
国際協力委員会	◎小原 由紀(理事)、○宮澤 絢子(東京都)、薄井 由枝(東京都) 二宮 望(神奈川県)、竹之内 茜(東京都)
広報委員会	◎伊藤眞知子(理事)、○井出 桃(神奈川県)、染谷眞喜子(東京都) 麻生 智子(千葉県)、大久保喜恵子(埼玉県)、喜田さゆり(東京都)
組織委員会	◎宮脇恵美子、千葉 茂美、中村 郁子、吉澤 茂美、高田橋美幸 成行 稔子
選挙管理委員会	◎柳瀬 琴江(東京都)、○長谷 規子(栃木県)、堀越香代里(埼玉県) 宮澤 紀子(千葉県)、清田 法子(神奈川県)、藤井 直美(長野県) 海野 恵己(静岡県) 予備委員 金子ひとみ(栃木県)、平野千鶴子(埼玉県)、宮下由美子(千葉県) 石井 知子(東京都)、佐野 孝子(神奈川県)、多羅沢朋美(長野県) 佐塚真理子(静岡県)
表彰審査会	◎堀 正子(神奈川県) ○大金 伸子(東京都)、船山由利子(栃木県)、神戸 節子(群馬県) 廣瀬加奈恵(埼玉県)
(専門委員会) 認定歯科衛生士審査会	秋房 住郎(日本口腔衛生学会)、下山 和弘(日本老年歯科医学会) 那須 郁夫(日本老年歯科医学会)、馬場 尊(日本摂食嚥下リハビリテーション学会) 植田耕一郎(日本摂食嚥下リハビリテーション学会) 篠塚 修(日本障害者歯科学会)、立澤 敦子(日本歯科衛生学会) 大久保喜恵子(埼玉県)、橋場 佳子(大阪府)
医療連携歯科衛生士 委員会	◎武藤 智美(常務理事)、小原 由紀(理事)、立澤 敦子(東京都) 石井 美和(兵庫県)

「地域歯科衛生活動」 助成事業審査委員会	小前みどり（理事）、長 優子（東京都）、立澤 敦子（東京都） 大島 克郎（日本歯科大学東京短期大学 教授）
生涯研修プログラム向 上委員会	浪岡多津子（常務理事）、吉本 美枝（理事）、山本 智美（静岡県） 須山 弘子（東京都）、水上 美樹（東京都）
指導者等講習会企画運 営委員会	島谷 和恵（東京都）、小森 朋栄（東京都）、田村 清美（愛知県） 上原 弘美（兵庫県）、松本 厚枝（広島県）、岡田 昌子（千葉県）
調査委員会	石井 拓男（東京歯科大学短期大学学長） 野村 義明（鶴見大学大学院歯学研究科（学内）教授） 大島 克郎（日本歯科大学東京短期大学 教授）

2) 日本歯科衛生学会委員会等

委員会名	委員名
学会幹事会	吉田 直美 (学会長)、小原 由紀 (理事)、立澤 敦子 (幹事長) 松本 厚枝 (副幹事長)、石川奈保美 (副幹事長)、吉田 幸恵 (幹事) 金久 弥生 (幹事)、川本 亜紀 (幹事)
学会委員会 企画委員会	◎石川奈保美 (副幹事長) ○原 久美子、○小倉 千幸
総務委員会	◎立澤 敦子 (幹事長) ○川本 亜紀 (幹事)、江口 貴子
編集委員会	◎松本 厚枝 (副幹事長) ○畠中 能子、○金久 弥生 (幹事)、○伊藤 奏 今井 光枝、松田 悠平、菅野 亜紀
学会運営協議会	吉田 直美 (学会長)、小原 由紀 (理事)、立澤 敦子 (幹事長) 松本 厚枝 (副幹事長)、石川奈保美 (副幹事長)、吉田 幸恵 (幹事) 金久 弥生 (幹事)、川本 亜紀 (幹事) 長縄 弥生 (第14回学術大会長)、橋場 佳子 (第15回学術大会長)
学術プログラム委員会	吉田 直美 (学会長)、小原 由紀 (理事)、立澤 敦子 (幹事長) 松本 厚枝 (副幹事長)、石川奈保美 (副幹事長)、吉田 幸恵 (幹事) 金久 弥生 (幹事)、川本 亜紀 (幹事) 橋場 佳子 (第15回学術大会長) 品田 和子 (第15回学術大会実行委員長)
学術表彰選考委員会	石井 拓男 (顧問・東京歯科大学短期大学学長) 大川 由一 (顧問・千葉県立保健医療大学教授) 和泉 雄一 (顧問・東京医科歯科大学名誉教授) 宮崎 秀夫 (顧問・新潟大学名誉教授) 武井 典子 (会長) 吉田 直美 (学会長)、河野 章江 (専務理事) 小原 由紀 (理事)、立澤 敦子 (幹事長)、松本 厚枝 (副幹事長) 石川奈保美 (副幹事長)、吉田 幸恵 (幹事)、金久 弥生 (幹事) 川本 亜紀 (幹事)
倫理審査委員会	◎吉田 幸恵 (幹事) 石井 拓男、鳥山 佳則、関根 透、白石 泰夫、宮武 洋吉、今井 光枝

◎委員長、○副委員長

参考資料 4

令和元年度 第5次生涯研修制度 専門研修開催状況

	歯周治療の基本技術		摂食嚥下機能療法の基本技術		リフレッシュコース		歯科診療所等における医療安全管理対策		周術期等の口腔機能管理		在宅歯科医療の基礎		合計	
	開催回数	受講者数	開催回数	受講者数	開催回数	受講者数	開催回数	受講者数	開催回数	受講者数	開催回数	受講者数	開催回数	受講者数
北海道	9	266	6	181	11	399	1	17	3	42	12	253	42	1,158
青森県	3	83	0	0	10	204	2	56	0	0	3	99	18	442
岩手県	2	63	0	0	4	171	0	0	0	0	1	42	7	276
宮城県	1	96	1	22	2	61	1	38	1	21	1	49	7	287
秋田県	0	0	0	0	1	17	0	0	0	0	1	40	2	57
山形県	2	110	0	0	2	58	0	0	0	0	3	62	7	230
福島県	1	60	0	0	1	68	1	69	2	154	3	117	8	468
茨城県	0	0	1	62	1	81	0	0	2	85	2	132	6	360
栃木県	1	60	1	51	3	91	1	54	3	74	0	0	9	330
群馬県	3	144	2	32	11	354	2	50	2	68	4	132	24	780
埼玉県	3	158	2	37	8	143	1	39	1	21	3	92	18	490
千葉県	4	89	3	98	2	74	2	23	2	95	7	223	20	602
東京都	4	139	5	468	10	388	5	56	7	311	8	327	39	1,689
神奈川県	1	96	1	130	12	580	1	93	0	0	0	0	15	899
山梨県	1	25	0	0	1	17	0	0	1	13	3	62	6	117
長野県	5	149	8	176	3	157	0	0	1	70	3	89	20	641
新潟県	1	19	6	134	8	127	1	15	1	38	3	80	20	413
富山県	1	27	1	40	0	0	0	0	0	0	2	80	4	147
石川県	5	185	1	58	1	37	2	73	0	0	2	122	11	475
福井県	1	12	1	10	1	16	1	14	2	28	2	36	8	116
岐阜県	3	58	8	201	5	128	4	74	2	91	8	217	30	769
静岡県	4	131	6	166	4	143	0	0	3	158	7	276	24	874
愛知県	2	91	4	166	4	163	0	0	1	39	3	119	14	578
三重県	4	146	3	138	6	79	2	105	0	0	3	184	18	652
滋賀県	1	60	2	95	1	27	0	0	1	37	3	73	8	292
京都府	2	81	4	196	3	158	1	19	0	0	5	199	15	653
大阪府	6	243	7	496	7	427	7	272	5	437	7	441	39	2,316
兵庫県	8	445	7	302	25	727	6	144	3	141	10	310	59	2,069
奈良県	1	25	1	44	6	248	1	14	0	0	2	55	11	386
和歌山県	2	24	2	66	5	141	0	0	1	26	4	119	14	376
鳥取県	1	18	0	0	0	0	0	0	1	19	1	14	3	51
島根県	2	16	2	47	6	122	0	0	1	35	3	61	14	281
岡山県	1	6	8	82	11	332	2	58	0	0	7	153	29	631
広島県	5	199	7	335	7	265	1	11	2	132	2	98	24	1,040
山口県	0	0	1	8	1	19	1	12	1	23	1	15	5	77
徳島県	3	110	0	0	10	263	2	44	0	0	3	34	18	451
香川県	2	109	1	6	8	323	1	12	0	0	0	0	12	450
愛媛県	2	75	0	0	2	64	1	40	0	0	1	70	6	249
高知県	0	0	1	41	1	7	0	0	0	0	5	157	7	205
福岡県	2	106	3	188	4	151	4	100	2	83	8	414	23	1,042
佐賀県	2	150	3	65	6	147	1	11	1	43	7	190	20	606
長崎県	6	120	1	15	8	103	0	0	0	0	4	42	19	280
熊本県	4	31	2	60	13	327	1	8	1	52	5	178	26	656
大分県	2	154	2	140	6	176	1	23	1	83	1	22	13	598
宮崎県	1	13	2	31	4	44	1	11	0	0	3	43	11	142
鹿児島県	3	87	1	41	3	45	2	58	1	36	2	65	12	332
沖縄県	2	54	1	48	0	0	0	0	1	32	1	32	5	166
合計	119	4,333	118	4,476	248	7,672	60	1,613	56	2,487	169	5,618	770	26,199

令和元年度 第5次生涯研修制度 修了者数

R1.12.31

	(1) 基本研修						(2) 特別研修	(3) 指定研修	合計
	歯周治療の 基本技術	摂食嚥下 機能療法 の基本技術	リフレッシュ コース	歯科診療所等 における医療 安全管理対策	術後期の 口腔機能管理	在宅歯科医療 の基礎			
北海道	11	8	8	0	0	0	0	0	27
青森	5	1	4	0	0	7	2	0	19
岩手	2	1	1	0	0	0	1	0	5
宮城	2	3	4	1	2	0	4	0	16
秋田	1	0	5	0	0	0	1	0	7
山形	1	0	0	0	0	0	0	0	1
福島	2	0	4	0	0	1	0	0	7
茨城	3	2	1	0	1	0	1	0	8
栃木	0	7	1	0	0	0	3	0	11
群馬	6	3	7	0	0	2	2	1	21
埼玉	3	3	6	0	0	0	3	0	15
千葉	2	1	2	0	4	0	3	0	12
東京	5	13	3	4	6	0	10	2	43
神奈川	4	14	12	2	7	0	9	0	48
山梨	0	1	2	0	1	0	0	0	4
長野	10	5	4	0	0	0	0	0	19
新潟	3	8	2	0	0	2	1	1	17
富山	2	3	0	0	0	0	3	0	8
石川	2	0	1	0	0	1	2	0	6
福井	0	0	1	1	0	0	1	0	3
岐阜	1	4	1	0	0	10	3	0	19
静岡	1	4	1	0	7	9	3	0	25
愛知	3	3	4	0	0	6	5	0	21
三重	6	2	4	0	0	2	2	0	16
滋賀	4	2	3	0	0	1	2	0	12
京都	2	6	4	0	0	9	2	0	23
大阪	5	13	9	0	10	20	12	0	69
兵庫	15	16	27	0	0	8	5	0	71
奈良	1	2	5	0	0	11	3	0	22
和歌山	2	2	1	2	0	3	0	0	10
鳥取	2	0	1	0	0	0	0	0	3
島根	2	2	4	0	2	0	0	0	10
岡山	2	5	6	1	0	0	4	0	18
広島	9	7	11	0	0	25	6	1	59
山口	0	2	2	0	0	0	2	0	6
徳島	5	1	4	0	0	0	5	0	15
香川	4	0	7	0	0	0	7	2	20
愛媛	3	1	4	0	0	0	1	0	9
高知	0	2	5	0	0	0	0	0	7
福岡	6	9	6	0	2	30	4	2	59
佐賀	0	1	4	1	0	13	0	0	19
長崎	0	1	0	0	2	1	0	0	4
熊本	0	3	2	0	0	0	1	0	6
大分	1	3	3	0	0	0	1	0	8
宮崎	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鹿児島	3	2	2	0	0	0	2	0	9
沖縄	4	1	0	0	0	0	2	0	7
合計	145	167	188	12	44	161	118	9	844

特別研修指定研修会

- 1 東京医科歯科大学歯科同窓会 C. D. E.
「歯科衛生士が担う歯周基本治療の最前線「SRP」の要点と限界」
- 2 東京医科歯科大学歯科同窓会 C. D. E. 「歯科衛生士だからできる口腔健康管理」
- 3 東京医科歯科大学歯科同窓会 C. D. E. 「わかる！できる！PMTIC」
- 4 東京医科歯科大学歯科同窓会 C. D. E. 「プロフェッショナルな歯科衛生士をめざして」
- 5 明倫短期大学「歯科衛生士のための学び直し講座」
- 6 一般社団法人 TOUCH 「第53回摂食咀嚼嚥下基礎セミナーA」
- 7 一般社団法人 TOUCH 「第50回摂食咀嚼嚥下基礎セミナーB」
- 8 一般社団法人 TOUCH 「第51回摂食嚥下基礎セミナーアドバンスコース」
- 9 一般社団法人 TOUCH 「第52回口蓋帆咽頭（いわゆる鼻咽腔）閉鎖機能セミナー」
- 10 産業歯科保健研究会第45回研修会
- 11 日本がん口腔支持療法学会第5回学術大会
- 12 大阪歯科大学歯科衛生士研修センター公開セミナー
- 13 広島大学歯学部歯科衛生士教育研修センター キックオフシンポジウム
- 14 ウェルテック株式会社「来院継続につながるチームアプローチ～初診からメンテナンスまで～」
- 15 ウェルテック株式会社「ライフステージ別にみる人生100年時代の予防歯科」
- 16 クインテッセンス出版株式会社「World Young Dental Innovators' Meeting 2020」
- 17 禁煙アドバイザー育成講習会 in 東広島 【延期】
- 18 2020 ライオン健康セミナー 【中止】

令和元年度 認定歯科衛生士登録者名簿

【認定分野A】摂食嚥下リハビリテーション

会 名	氏 名
東京都	大野 博子
香川県	大西 貴子

【認定分野A】在宅療養指導・口腔機能管理

会 名	氏 名
北海道	野呂 紀子
	日比 友乃
青森県	杉山 祐美子
福島県	菅家 美和子
	新妻 香
茨城県	小塚 恭子
栃木県	川上 美佐子
	椎橋 桂子
群馬県	筑比地 真弓
千葉県	瀬下 愛子
	山口 智恵
東京都	平井 みつよ
	長井 昌子
	貨泉 朋香
	滝次 真理子
	大越 理恵
	天井 利香
神奈川県	高橋 邦子
	三浦 千賀子
	秋田 礼子
	法木 忍
	高橋 小枝
	川田 みゆき
	田村 律子
	若尾 美知代
	井塚 晶代
	齊藤 理子
	平田 千賀
	高橋 恵子
	田頭 絹代
	長野県
篠原 昭子	
富山県	長久 聖子
静岡県	加藤 晴美
	樋口 有佳里
	鈴木 明子
	海野 敦子
	齋藤 美和
	栗原 智美
	柴山 奈都子
	中西 香織
三重県	南川 亜紀
	田中 玲子
	若宮 由紀恵
岐阜県	井野根 繁子
	田村 真依
愛知県	小澤 浩美
	中邨 愛

会 名	氏 名
愛知県	森島 暢子
	吉川 そのみ
	細久保 真理子
	加藤 典子
滋賀県	山田 佳子
	中西 美幸
	奥村 慶子
	林 泰代
	和田 絵里子
京都府	日野 隆子
	家高 明美
	上田 登美子
	瀬戸口 晴子
	村上 正恵
	志賀 由美
	木村 千鶴
	伊藤 真友美
	矢田 直美
	北村 寿子
大阪府	瀧 佳子
	松本 律子
	木田 由美子
	白居 綾子
	田村 照美
	松原 真弓
	西部 隆子
	松田 久美
	桜井 由佳
	大濱 雅子
	岡川 安子
	吉村 明子
	打田 淳子
	米田 裕香
	浅井 真栄
	北川 まさ美
	白子 美和
	大森 かずみ
	山田 ますみ
	島 幸子
山田 恵里	
安栗 直美	
吉田 美保	
伊東 康子	
柴田 史江	
中野 恭子	
宮崎 富美子	
松島 美奈子	
谷端 ゆかり	

会 名	氏 名
大阪府	北村 亜矢
	恵比須 美知代
	濱田 雅子
	市田 久美子
	澤田 美佐緒
	森 史子
	岡田 浩美
	小西 和子
	奥野 里砂
	林 澄子
	河野 陽子
	松木 佐代子
	山本 三幸
	田中 恵美子
	添田 清子
	山下 好栄
	兵庫県
三柴 直美	
原田 さとみ	
熱田 直美	
前山 由起子	
高見 美佳	
花岡 宏美	
松本 朋絵	
堀 友恵	
濱名 明日香	
山内 千代	
橋本 ともみ	
谷 美紀	
野村 純子	
新井 みちる	
畔柳 知恵子	
奈良県	平林 佳奈
	下岡 真由美
和歌山県	小牧 圭美
	山東 理沙
鳥取県	加納 有子
	渡辺 靖子
島根県	石田 陽子
岡山県	大河原 鈴加
	飯田 美知代
広島県	榊原 明美
	中河原 みどり
	鈴谷 美和
	岡本 啓子
	荒木 知苗
	谷口 つや子
村田 朋子	

会名	氏名
広島県	和田 恵美
	山部 さとみ
	服部 眞弓
	藤川 直子
	石井 ひとみ
	岡田 賀津枝
	吉岡 真里
	原田 文江
	山根 次美
	板木 咲子
	坂本 奈津子
	深本 幸恵
	山口 美智子
	石川 一美
	藤井 好美
	住本 朋子
	藤原 千尋
	広瀬 香代子
	新田 智恵
	河村 あゆみ
	尾上 千里
	岡 朋子
	鹿林 七瀬
	坂本 和子
	土居 歩美
	福松 和恵
	川原 涼子
竹田 幸恵	
里谷 裕子	
山口県	早野 泰枝
	柴田 久美
	高田 ゆりえ

会名	氏名
愛媛県	小西 いずみ
高知県	村中 志穂
	植田 彩子
福岡県	渡辺 朋世
	原口 公子
	坂梨 裕子
	荒木 貴子
	杉浦 裕子
	高橋 由希子
	安部 真由美
	鶴田 清美
	井手 貴子
	佐賀県
山口 いづみ	
藤川 理香	
長崎県	松永 理恵
	岩本 和美
熊本県	山口 方子
	佐藤 成美
	松崎 貴久子
	清水 千代美
	坂本 美幸
	大村 加与子
	渡邊 由紀
	古嶋 暁子
	清本 恭代
	松本 三貴
	富永 万里子
	今泉 克美
	磯田 京子
	宮川 恭子
	山田 郁子

会名	氏名
熊本県	佐藤 はるみ
	矢野 道子
	荒木 智子
	金子 優子
	歌津 香美
	福田 梓
	松下 利恵
	濱 梢
	朝廣 智美
	中村 彩乃
	内古閑 美友紀
	元田 尚美
	河本 のぞみ
	加藤 真奈美
	瀬音 美幸
	原田 眞知子
	前村 佳子
大分県	反頭 由紀子
	吉田 久美子
	小崎 智加子
	赤坂 美由紀
	大庭 孝子
	青木 利美
	金子 良美
宮崎県	立山 博子
	北方 綾乃
	古田 奈美江
下池 光	
鹿児島県	津町 千代子
	福元 知美
沖縄県	小山 みどり
	平尾 和美

【認定分野A】医科歯科連携・口腔機能管理

会名	氏名
福島県	古川 千絵
群馬県	高橋 佐知子
茨城県	水野 孝子
埼玉県	石田 純子
千葉県	鈴木 美穂
神奈川県	花岡 美恵
	本多 淳子
	越智 徳子
石川県	高橋 恵子
	谷口 弘子

会名	氏名
石川県	越田 美和
福井県	笹木 明美
岐阜県	縄田 理佳
愛知県	水野 淳子
	石本 多実
	木村 菜摘
大阪府	壺井 佳見
	柴垣 佐千子
	白子 美和
	植田 智子

会名	氏名
大阪府	安武 夏海
兵庫県	厨子 久美子
奈良県	伊地知 由賀
和歌山県	湯谷 響子
岡山県	花岡 愛弓
愛媛県	徳永 奈津子
高知県	坂本 まゆみ
熊本県	菊川 リエ
佐賀県	田中 香須子

【認定分野A】糖尿病予防指導

会名	氏名
北海道	市川 智恵
	佐藤 伸子
	伊藤 朋江
秋田県	渡邊 ゆみこ
栃木県	堀越 悦代
埼玉県	廣瀬 加奈恵
千葉県	田中 綾子
東京都	平田 結美子
	増村 恭子
神奈川県	竹山 淳子
	法木 忍
	山田 里美
	島田 あさみ
	赤松 知美
愛知県	鈴木 浩子
	川田 佐代子

会名	氏名
大阪府	武石 みゆき
	友田 直美
	山口 香
兵庫県	城越 信子
	竹内 雅子
	小澤 純子
奈良県	谷 裕枝
和歌山県	中西 美保
島根県	神代 さつき
岡山県	千神 八重子
徳島県	森 重代
	横井 久美子
	石川 久子
	岡本 悦子
	川柴 淑

会名	氏名
徳島県	中江 美恵子
	宮本 悦子
	武川 香織
香川県	戸田 知美
	坪田 ゆかり
	伊達 早苗
	中村 千佐
	齋藤 脩
愛媛県	安藤 真紀
	浦戸 美緒
福岡県	尾澤 みなみ
	近本 嘉美
大分県	中村 洋子
鹿児島県	湊 恵美
	竹内 里奈

【認定分野B】障害者歯科

会名	氏名
埼玉県	遠藤 美咲
	石塚 あかね
千葉県	本田 貴子
東京都	北島 幸枝
	小島 薫
	生沼 由美子
	大澤 郁子
	伊東 智子
	中山 裕子
神奈川県	村上 由岐子

会名	氏名
神奈川県	児玉 綾子
	谷戸 茜
長野県	田中 春菜
静岡県	南 菜穂子
愛知県	酒井 美穂
	岡師 良枝
	伊藤 さと美
	高田 和恵
三重県	南川 亜紀
京都府	西田 ちひろ

会名	氏名
大阪府	北口 愛里
	寺田 奈緒
	荘司 舞
兵庫県	田辺 亜莉紗
	深澤 映美
岡山県	安藤 智美
福岡県	菊村 里香
	池田 菜津美
沖縄県	新垣 花絵

【認定分野B】老年歯科

会名	氏名
東京都	白部 麻樹
	吉岡 亜希子
神奈川県	鈴木 裕美子
三重県	佐藤 絵美
広島県	藤原 千尋

【認定分野B】口腔保健管理

会名	氏名
香川県	山下 亜矢子

【認定分野C】研修指導者・臨床実地指導者

会名	氏名
青森県	石田 菜穂子
	浅木 美智子
岩手県	浪岡 多津子
	昆 由美子
	赤坂 幾子
宮城県	人見 早苗
	堀込 ゆかり
	宋戸 敦子
山形県	小野 淑子
福島県	菅野 洋子
	玉川 春美
茨城県	芹澤 鏡子
栃木県	小林 厚子
群馬県	藤村 季子
	原田 規子
埼玉県	大久保 喜恵子
	石田 純子
千葉県	廣瀬 加奈恵
	岡部 明子
東京都	島谷 和恵
	吉田 直美
	渡邊 洋子
	小森 朋栄
	小原 由紀
	石塚 真理子
	山本 綾
	廣川 香
神奈川県	渡邊 月子
	中向井 政子
	吉村 理恵
	齊藤 理子
山梨県	永井 鈴美
長野県	麻田 加代子
	高本 愛
新潟県	関口 恵理子
	船岡 陽子
	塚田 しげみ
富山県	荒木 千加子
石川県	石垣 敦子
福井県	笹木 明美
岐阜県	奥村 美雪
	藤井 重子
	西田 里美
	伊藤 ひとみ

会名	氏名
静岡県	齋藤 美和
愛知県	水草 あゆみ
	伊藤 裕美子
	吉田 明美
	松井 かおる
三重県	笹間 滋代
	荒木 弘子
	丹羽 友美
	水谷 雅子
滋賀県	宇治田 ゆみ
	中西 美幸
	土屋 奈美
	木下 幸子
京都府	真田 依功子
	吉本 美枝
	門野 節子
大阪府	上野 美奈
	藤林 由利安
	河野 洋子
	高田橋 美幸
	山口 千里
	米田 裕香
	梶 貢三子
	臼本 鏡子
	福田 夏子
	橋場 佳子
	品田 和子
池北 眞紀	
兵庫県	榊井 悦子
	小松 陽子
	笠井 昌樹子
	藤田 琴美
	久保 祐美子
	船原 まどか
	花房 千重美
	山口 玲子
	堀江 志保
	泉本 美穂
	畔柳 知恵子
初田 朋子	
奈良県	瓶原 明身
	吉田 美和
	松尾 由佳

会名	氏名
奈良県	黒田 典代
和歌山県	林 糸津香
	山下 千穂
	麻生 万裕美
	中西 美保
島根県	安部 美智野
岡山県	三浦 留美
	戸川 靖代
	木村 優子
	杉浦 裕子
広島県	田井 恵子
	松本 厚枝
	和木田 敦子
	中岡 美由紀
	西村 瑠美
	前原 朝子
徳島県	藤原 千尋
	小林 美保子
	森本 みどり
	河野 美枝子
	橋本 千奈美
	十川 悠香
	中江 弘美
北條 康子	
香川県	久保 万友美
	松尾 明美
	池田 真己
福岡県	坪田 ゆかり
	中道 敦子
	久保山 裕子
	高橋 由希子
	泉 繭依
	谷口 真理子
	鬼木 裕子
	原口 公子
	松永 真理子
阪本 匡子	
佐賀県	田中 香須子
熊本県	志垣 留美
	中村 加代子
大分県	金子 優子
	麻生 清子
沖縄県	野田 直美

参考資料 8

令和元年度「地域歯科衛生活動」助成事業

No.	都道府県名	事業名	実施日数	実施人数 参加者数	実施施設 (会場)数 対象施設数	従事者数			その他内訳
						歯科衛生士	歯科医師	その他	
1	北海道 歯科衛生士会	(1)母子歯科保健に関する事業 子育て支援における口腔健康管理に関する啓発事業	1	219	1	10	-	11	歯科衛生士 養成校学生
2	青森県 歯科衛生士会	(1)母子歯科保健に関する事業 保育園児、幼稚園児の保護者に対する歯科保健に関するアンケート調査事業および歯科保健に関する普及啓発事業	7	1146	7	15	2	2	保育士
3	山形県 歯科衛生士会	(8)多職種連携・協働による歯科口腔保健・口腔ケア推進事業 医療介護連携センター圏内における多職種連携・協働による口腔ケア推進事業	20	36	2	52	-	208	看護師 介護職員 相談員 施設長等
4	東京都 歯科衛生士会	(9)その他歯科口腔保健の推進に関する事業 東京デンタルフェスティバルin八王子	1	261	1	14	-	-	
5	和歌山県 歯科衛生士会	(9)その他歯科口腔保健の推進に関する事業 「災害に対する備えと知識の普及啓発および災害支援歯科衛生士育成」	4	1223	7	37	-	2	管理栄養士 振興局職員
6	鳥取県 歯科衛生士会	(4)成人歯科保健に関する事業 歯と口腔の健康づくり とっとりプランに掲げられた目標指標達成のための取り組み	1	18	1	12	-	-	
7	島根県 歯科衛生士会	(9)その他歯科口腔保健の推進に関する事業 歯と口腔の健康づくりに対する知識の普及啓発事業(歯っぴー♡フェスタ)	1	241	1	16	-	-	
8	岡山県 歯科衛生士会	(9)その他歯科口腔保健の推進に関する事業 県民公開講座 テーマ「災害に備える」	1	65	1	15	-	1	薬剤師
9	徳島県 歯科衛生士会	(9)その他歯科口腔保健の推進に関する事業 徳島県における歯科衛生士の離職防止・復職支援システムの構築	4	141	4	20	-	-	
計			40	3350	25	延べ191	延べ2	延べ224	

令和元年度日本歯科衛生士会会長表彰 受賞者

功 勞 賞

*会員歴30年以上、役員歴が日本歯科衛生士会・都道府県歯科衛生士会を併せて10年以上ある者

野谷 美輝子 (北海道)	中山 絵里 (北海道)
多田 康子 (岩手県)	浪岡 多津子 (岩手県)
佐竹 幸栄 (茨城県)	大久保 喜恵子 (埼玉県)
尾谷 始子 (千葉県)	西山 なほ子 (千葉県)
佐野 孝子 (神奈川県)	湊 勝美 (富山県)
藤井 重子 (岐阜県)	白本 鏡子 (大阪府)
平中 早苗 (大阪府)	丸山 直美 (大阪府)
森田 美智子 (大阪府)	日野 由喜 (島根県)
武田 明美 (岡山県)	西林 知里 (広島県)
小林 美保子 (徳島県)	岩男 好恵 (福岡県)
高見 佳代子 (福岡県)	山本 美保子 (長崎県)
逢坂 佐恵子 (熊本県)	高藤 千鶴 (大分県)
梶原 眞理 (大分県)	大山 こずえ (沖縄県)

(26名)

永年精励賞

*会員歴35年以上であって、年齢65歳以上の者

伊藤 紀英子 (北海道)	古田 直子 (青森県)
佐藤 恵美子 (秋田県)	遠藤 和子 (山形県)
柴橋 八重子 (山形県)	伊藤 千代子 (福島県)
齋藤 しづ子 (福島県)	玉川 春美 (福島県)
瀧川 公子 (茨城県)	神戸 節子 (群馬県)
熊谷 千栄子 (群馬県)	池田 三佐子 (東京都)
金田 恵美子 (東京都)	佐藤 信子 (東京都)
芳賀 留美 (東京都)	染谷 眞喜子 (東京都)
中澤 千賀子 (神奈川県)	相良 恭子 (神奈川県)
中川 律子 (神奈川県)	土橋 五十鈴 (長野県)
白鳥 明子 (長野県)	竹村 裕美 (石川県)
松本 美千代 (石川県)	小澤 和子 (静岡県)
折戸 文恵 (岐阜県)	高桑 訓枝 (岐阜県)
川村 恵理 (岐阜県)	国枝 京子 (岐阜県)
貝谷 美智江 (愛知県)	久田 せつ子 (愛知県)
丸尾 和子 (愛知県)	黒田 兼子 (愛知県)
度会 ひとみ (愛知県)	高阪 利美 (愛知県)
笹田 春恵 (滋賀県)	奥村 悦子 (滋賀県)
加川 裕子 (滋賀県)	小野里 厚子 (京都府)
岩井 紀代子 (大阪府)	溝本 美智子 (大阪府)
山田 郁子 (大阪府)	井上 サナエ (兵庫県)
大西 真子 (兵庫県)	岩崎 恵子 (兵庫県)
北野 美恵子 (和歌山県)	高橋 寿美子 (島根県)
横山 康江 (岡山県)	宮下 政子 (広島県)
橋本 永美 (広島県)	橋本 早苗 (広島県)
森崎 弓子 (福岡県)	立野 麗子 (福岡県)
長沢 和世 (福岡県)	福本 厚子 (熊本県)
麻生 清子 (大分県)	友枝 康代 (大分県)

(56名)

令和2年度予算・制度等に関する要望について

公益社団法人 日本歯科衛生士会

(要 旨)

日本は急速に高齢化が進展する中、地域包括ケアシステムの構築が急がれるとともに、健康寿命の延伸が喫緊の課題となっております。国の方針である「経済財政運営と改革の基本方針(骨太の方針)」においても、2年にわたり「生涯を通じた歯科健診の充実」、「国民の口腔機能管理の推進」、「地域における医科歯科連携の構築」など、歯科保健医療の充実に取り組む方向性が明記されました。また未来投資会議でも「歯科健診の機会の拡大」、「保健指導の充実」、「介護予防と保健事業(フレイル対策)との一体的実施」などが中間報告に盛り込まれ、歯科への期待が高まっております。

そこで、日本歯科衛生士会におきましても、国民の「食べる」「話す」「笑う」などの日常生活の基盤となる口腔機能を支え、生活の質を高めるとともに全身の健康の増進、さらには健康寿命の延伸に貢献すべく、その役割を全うする所存であり、その実行・実現のために、以下の要望事項に対するご支援・ご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

(要 望 事 項)

1. 地域包括ケアシステムにおける医科歯科連携および多職種連携の推進のための人材育成
2. 生涯にわたる歯科健診や歯科保健指導の充実
3. 介護予防、フレイル・オーラルフレイル対策における「口腔健康管理」の推進
4. 「歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業」の継続と拡充

要望事項について

1. 地域包括ケアシステムにおける医科歯科連携および多職種連携の推進のための人材育成

地域包括ケアシステムにおける医療・介護の一体的提供体制の構築にともない、急性期医療から在宅医療・介護までの一連の流れの中で、シームレスな医科歯科連携および多職種連携が必要となってきています。

(1) 医療機関と連携した訪問歯科診療および歯科医療提供体制の充実

平成29年の患者調査(厚生労働省)では、歯科診療所の受診患者の45%以上が65歳以上となっています(右図)。高齢者の歯科受診患者が増加する中、歯科診療所に来院できなくなった患者への医療機関と連携した訪問歯科診療提供体制の充実が必要です。

さらに近年では、入院患者に対する口腔機能管理が在院日数を10%以上削減する効果があることが明らかとなっており、入院患者に対する口腔機能管理の必要性が増大

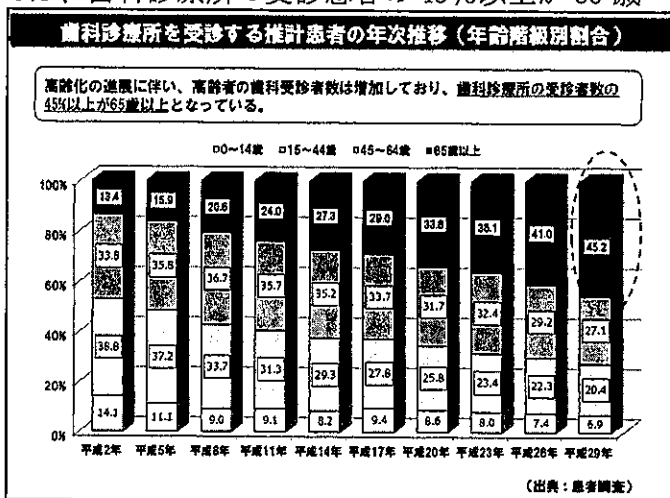
しています。しかしながら、歯科を標榜している病院は約2割であり、多くの病院では歯科医師・歯科衛生士が配置されていないため、周術期等口腔機能管理においては地域の歯科医療機関との連携協働が不可欠となっています。

(2) 多職種連携と歯科医療提供体制の充実

急性期医療から在宅歯科医療にスムーズに移行するためには、地域の在宅歯科医療連携室や歯科医師会、歯科医療機関等に情報提供を行い、連携強化を図るなど急性期から回復期における医科歯科連携および退院支援等の連絡・調整が必要不可欠となっています。さらに、地域における医療・介護の多職種による研修や会議への参画等、歯科医療機関による医療介護関係職種を対象とした口腔ケア等の研修のニーズが高まっています。

上記(1)、(2)の課題・状況を踏まえ、下記の3点を要望いたします。

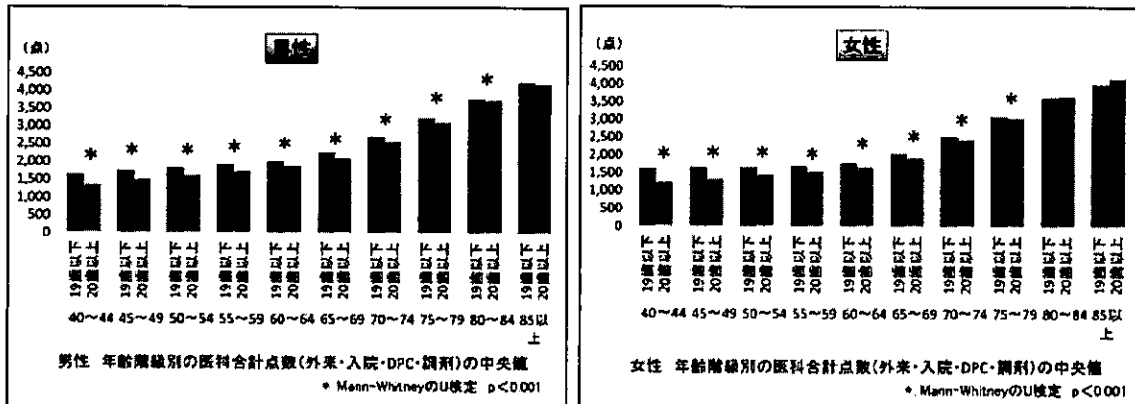
- 要望①：**医療機関と連携した訪問歯科診療および歯科医療提供体制の充実をめざして、医科歯科連携、全身管理、在宅・施設における口腔健康管理等が実践できるよう歯科衛生士の人材育成のための研修への予算措置等に対する支援
- 要望②：**病院・在宅・施設において、歯科医師の指示のもと潜在化した歯科ニーズを把握して歯科医療とつなげる役割を担う歯科衛生士の人材育成研修への支援と提供体制の整備
- 要望③：**医療介護関係職種を対象とした口腔ケア等の研修講師養成のための支援



2. 生涯にわたる歯科健診や歯科保健指導の充実

近年、口腔健康管理や予防効果の高い歯科医療の重要性など、歯と口の健康と全身の健康について国民の理解が高まりつつあります。

今までに、歯の本数が多い人ほど、歯周病がない人ほど医科医療費が低いことが示されて来ました。さらに、日本歯科総合研究機構は、レセプト情報・特定健診等情報データベースを用い、歯周病を有する患者の20本以上の歯がある人と19本以下の人とを比較した結果、男女を問わず全年齢において20本以上歯がある方の医科医療費が少ないことを明らかにしました(日本歯科医療管理学会誌 51(3), 136-142, 2016, 下図)。



以上のように、口腔健康管理や予防効果の高い歯科医療が全身の健康と密接にかかわり、健康寿命の延伸に大きく貢献することが示されました。これらのエビデンスを踏まえ、国の「経済財政運営と改革の基本方針(骨太の方針 2017 及び 2018)」にも、2年に亘り「生涯を通じた歯科健診の充実」が明記されました。

しかしながら、歯科健診が義務化されているのは、乳幼児から児童・生徒までであり、健康増進法に基づく歯周疾患健診以外の明記はなく成人期以降の歯科健診の実施は任意あるいは努力義務の位置づけに留まっています。このため、新たに成立した成育基本法の理念も視野に、周産期から高齢期まで国民の生涯にわたる歯科健診の推進が大きな課題となっております。

また、少子・高齢社会における歯科医療提供体制の構築に向けては、歯科医療と口腔保健が地域医療に貢献し、健康寿命の延伸に寄与することから、歯科衛生士の90%以上が歯科診療所で就労しながら地域歯科保健も担っているなか、地域の歯科医療と連携した歯科保健指導の充実が課題となっております。

これら課題を踏まえ、下記の2点を要望いたします。

- 要望①：成人期以降の歯科健診の実施は現在任意あるいは努力義務の位置づけであるため、高校卒業後の生涯にわたる歯科健診の充実に向けた支援**
- 要望②：歯科医療と口腔保健が地域医療に貢献し、健康寿命の延伸に寄与することから、地域の歯科医療と連携した歯科保健指導充実のための歯科衛生士の活用と予算措置等に対する支援**

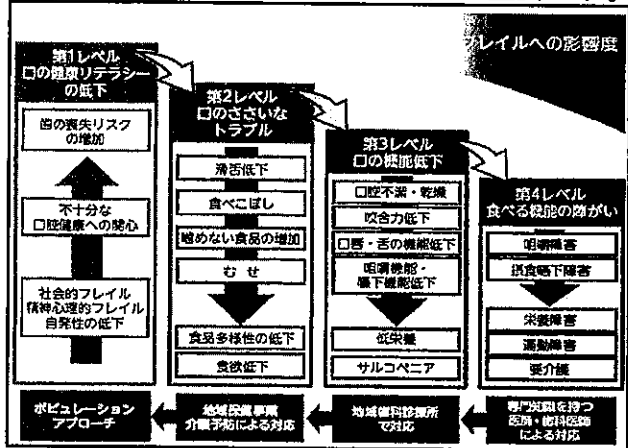
3. 介護予防、フレイル・オーラルフレイル対策における「口腔健康管理」の推進

(1) 地域の通いの場におけるオーラルフレイル予防への歯科衛生士の参画

介護が必要となる原因は、要支援者では「高齢による衰弱(フレイル)」が第2位、要介護者では第3位であり(国民生活基礎調査、平成28年)、フレイル予防が重要です。

介護予防のためには、右図のポピュレーションアプローチおよび地域の事業によるオーラルフレイル予防、さらには、歯科診療所における「口腔機能低下症」の診断・治療・管理が重要となります。

一方、沖縄県宮古島市では、地域の高齢者の通いの場にてオーラルフレイルの予防が行われており、その活動を通して口腔機能が高まり、軽度の認知



オーラルフレイル概念図 2019年度版(日本歯科医師会)

症(MCI)予防に貢献できたことが報告されています (Koji Takada et al, AJGG 13(1):19-24, 2018.)。

そこで日本歯科衛生士会では、地域でオーラルフレイル予防を歯科衛生士が実践するための小冊子「お口の若返り BOOK」を作成し、全国の歯科衛生士会にオーラルフレイル予防の実践を呼びかけています。



(2) 地域ケア会議における歯科衛生士の活用の促進

多職種連携による介護予防のための「地域ケア会議」は、市区町村によってその実施状況には温度差があるのが現状です。そこで、本会では「地域ケア会議」を推進する際に有用となる、歯科衛生士の必携マニュアルを発行し、研修を推進しております(右図)。



書籍「地域ケア会議必携マニュアル」

(3) 歯科診療所等における「口腔機能低下症」等の啓発

平成30年度診療報酬改定にて「口腔機能発達不全症」や「口腔機能低下症」が導入されました。地域と連携して歯科診療所等の歯科衛生士も歯科医師の指示で口腔機能低下症の検査や歯科保健指導が必要となります。現在、「口腔機能低下症」はeラーニングを作成して人材育成中です。

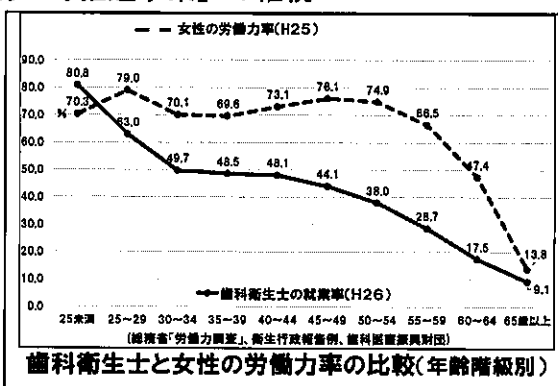
上記(1)、(2)、(3)の状況を踏まえ、下記の3点を要望いたします。

- 要望①：高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施において、地域でオーラルフレイル予防に積極的に参画できるような仕組みの構築支援
- 要望②：地域ケア会議における歯科衛生士の活用の促進
- 要望③：歯科診療所等における「口腔機能発達不全症」や「口腔機能低下症」に対する保健指導の実践とその評価への支援

4. 「歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業」の継続と拡充

(1) 「歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業」の継続

日本の就業歯科衛生士数は 123,831 名であり、その 90.6%が診療所勤務です。しかし依然として診療所の歯科衛生士は不足し、地域で多職種と連携して歯科医療を提供する上で歯科衛生士の不足は喫緊の課題です。歯科衛生士免許登録者の内、実際に就労している歯科衛生士は 45.6%、この理由として学校卒業後の数年



で約 30%の歯科衛生士が離職、さらに出産後に復職に結び付いていないことです(図赤線)。とくに出産後は 80%の歯科衛生士が復職を希望していますが、勤務時間や自分のスキル等が再就業の障害となっております。

そこで、平成 29 年度より厚生労働省の「歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業」の委託を受け、「指導者等育成のための講習会(本会)」、「歯科衛生士の技術修練設備等の整備(歯科衛生士養成校)」が実施されています。「指導者等育成のための講習会」は『全国共通ガイドライン』を作成し、地域でガイドラインを実践できる研修指導者および臨床実地指導者育成のための講習会を全国 4 カ所で開催しています。また、「歯科衛生士の技術修練設備等の整備」は、地域で要介護者や療養者等に対して医療安全・感染管理・救命救急処置や吸引行為等にも対応できる臨床実践力の獲得を目指して医療と介護との連携に関わる技術修練部門の整備を行っています。

(2) 「歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業」の拡充として復職支援相談窓口や総合的な復職支援体制の構築

復職希望者には育児や介護等により長時間勤務が困難な者が多いため、仕事内容や働き方、勤務地・勤務時間等について相談できる窓口が必要であり、復職に向けてのきめ細かなアドバイスが受けられるよう、労務管理やマネジメントの知識を有する相談員の配置が求められます。また、離職者に対する研修案内等の情報提供により、離職中もつながりを継続し、潜在化を防止することが大切です。

上記(1)、(2)の課題・状況を踏まえ、下記 2 点を要望いたします。

要望①：歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業の継続・充実と両事業の連携強化、「指導者等育成のための講習会」は、「歯科衛生士のタスクフォース養成研修」、「共通ガイドラインの見直し・強化」に関する支援

要望②：未就業者の届出、就業相談・紹介・手続等の復職支援サービスがワンストップで提供できるよう復職支援に関する中央相談窓口機能を持つセンター等の設置、求人・求職情報等に関する有効なデータシステムの検討等、総合的な復職支援体制の一層の整備の支援

令和2年度歯科診療報酬改定等に関する要望について

公益社団法人 日本歯科衛生士会

要望の趣旨

令和2年度歯科診療報酬改定にあたり、地域包括ケアシステム構築が急がれる中、歯科衛生士の90.5%が就業する診療所の歯科衛生士においても、地域で多職種と連携し、口腔健康管理が切れ目なく提供できるよう、歯科衛生士の生涯研修をより一層推進し、健康寿命の延伸に寄与することが喫緊の課題となっております。

つきましては、研修を受けた歯科衛生士に対する診療報酬上の評価について、下記のとおり要望いたします。

要望事項

1. 「研修を受けた歯科衛生士」に対する診療報酬上の評価について

歯科衛生士の90%以上が就業している診療所の歯科衛生士が、地域包括ケアシステムにおいて、多職種連携による質の高い口腔健康管理が提供できるよう、診療所等の歯科衛生士に対して、生涯研修の積極的な受講を推進いたしたく、「研修を受けた歯科衛生士」に対する診療報酬上の評価について要望いたします。

日本において歯科衛生士法が制定され70年が経過しました。1992年に「歯周疾患指導管理料」において、歯科衛生士が実施する「歯科衛生実地指導料」が保険点数で評価されて以来、就業歯科衛生士数は増加して、132,635名(2018年)となりました。その主な就業場所は、歯科診療所が90.5%と圧倒的に多く(衛生行政報告例、2018年)、次いで病院、市区町村、介護保険施設等の順に多く就業しています。一方、直近の患者調査(2017年)では、診療所の受診患者の45%以上が65歳以上となり、高齢患者の割合が増大しています。これらの変化に対応し、全ての診療所の歯科衛生士に対し、全身管理や有病者に対する対応、医科歯科連携に関する研修の必要性が高まっております。さらに、地域包括ケアシステムにおいては、診療所の歯科衛生士も地域に出て、多職種と連携しながら、歯科衛生士の専門性を発揮し、病院、在宅、施設等

において、療養患者や要介護高齢者の口から食べる機能を維持して低栄養や誤嚥性肺炎を予防するなど、口腔衛生管理・口腔機能管理を担う歯科衛生士の役割が期待されています。

このような社会ニーズの高まりに対応して、全ての歯科衛生士が高いレベルで専門性を発揮するためには、学校教育からの継続した生涯研修が不可欠となっています。

そこで日本歯科衛生士会におきましても、1989年より生涯研修制度（別表資料）をスタートしました。「専門研修」は、地域において都道府県歯科衛生士会が実施する研修会であり、歯周治療や摂食嚥下機能療法の基本技術、ライフステージに対応した歯科保健指導、周術期等口腔機能管理、在宅歯科医療の基礎など、コース別に研修プログラムを企画し、実施しています。これらを30単位以上取得した歯科衛生士は、各コースの「認定研修」を受講できます。認定研修は、近年の社会ニーズに対応できるよう『生活習慣病予防』、『摂食嚥下リハビリテーション』、『在宅療養指導・口腔機能管理』、『糖尿病予防指導』、『医科歯科連携・口腔機能管理』を実施しております。今後、社会の期待に応えていくためにも、これらを受講して、歯科衛生士の臨床実践力を高めて行くことが極めて重要です。

しかし一方で、これらの研修修了者は17,853名（認定研修修了者3,870名含む）であり、全就業歯科衛生士の13.5%に留まっています。また近年では、研修受講者が減少傾向にあります。これらの原因について調査を行った結果、研修を受講しても診療報酬での評価がなく、また、診療所からの研修受講支援が乏しいため、研修へのモチベーションが維持できないとの回答が多数ありました。今後、本会においても生涯研修の必要性をより一層啓発していく所存ですが、全ての就業歯科衛生士に対して、生涯研修の受講を推奨する施策が必要です。

また近年、在宅療養支援歯科診療所、かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所、歯科外来診療環境体制加算歯科診療所などの「施設基準」として『歯科衛生士の配置が要件』の一つとなっており、診療報酬上の加算がされておりますが、研修受講の要件が設定されておられません。

そこで、歯科衛生士の90%以上が就業している診療所の歯科衛生士が、生涯研修を積極的に受講し、地域において多職種連携を図り、療養患者や要介護高齢者の口から食べる機能を維持して低栄養や誤嚥性肺炎を予防するなど、健康寿命の延伸に積極的に寄与するため、「研修を受けた歯科衛生士」に対する診療報酬上の評価について要望いたします。

公益社団法人日本歯科衛生士会 生涯研修制度の概要 2019.4.1	
専 門 研 修	認 定 分 野・認 定 研 修
<p>1. 基本研修Ⅰ・Ⅱ (本会企画・都道府県会実施・eラーニング)</p> <p>A 臨床研修コース(a・bとも各15単位で修了)</p> <p>a 歯周治療の基本技術 b 摂食嚥下機能療法の基本技術</p> <p>B リフレッシュコース(a~h計15単位で修了)</p> <p>a 最新・歯科診療の補助 b 幼児・学齢期歯科保健 c 成人期歯科保健 d 高齢者歯科保健 e 障害者歯科保健 f 災害支援活動 g 歯科衛生ケアプロセス(歯科衛生過程) h トピックス・その他</p> <p>C 特定コース(a~cとも各15単位で修了)</p> <p>a 歯科診療所等における医療安全管理対策 b 周術期等の口腔機能管理 c 在宅歯科医療の基礎</p> <p>2. eラーニング研修(DH-KEN)</p> <p>3. 特別研修(本会が認定した関連学会・団体等の研修)</p> <p>4. 指定研修(本会が指定した教育機関等の教育・研修)</p>	<p>認定分野A(認定研修受講修了による認定)</p> <p>生活習慣病予防(特定保健指導 -食生活改善指導担当者研修)</p> <p>摂食嚥下リハビリテーション</p> <p>在宅療養指導・口腔機能管理</p> <p>糖尿病予防指導</p> <p>医科歯科連携・口腔機能管理</p> <p>歯科医療安全管理(新設)(2020年度~)</p> <p>認定分野B(関連学会との連携による認定)</p> <p>障害者歯科(専門審査機関:日本障害者歯科学会)</p> <p>老年歯科(専門審査機関:日本老年歯科医学会)</p> <p>地域歯科保健(専門審査機関:日本口腔衛生学会)</p> <p>口腔保健管理(専門審査機関:日本口腔衛生学会)</p> <p>認定分野C(指導者等講習会&AorBのうち1分野以上の認定証)</p> <p>研修指導者・臨床実地指導者【新設】</p>
<p>→ 専門研修において所定の単位を取得し、受講者基準を満たした者が認定研修受講資格者となる</p>	

公益社団法人日本歯科衛生士会 生涯研修制度の概要 (2019年4月1日現在)

加入団体及び後援協力事業

加入団体

- ・公益財団法人8020推進財団
- ・一般社団法人日本口腔衛生学会
- ・一般社団法人日本公衆衛生学会
- ・日本歯科医療管理学会
- ・歯科保健医療国際協力協議会（JAICOH）
- ・子どもの歯を守る会
- ・NPO法人日本フッ化物むし歯予防協会
- ・チーム医療推進協議会
- ・一般社団法人日本歯学系学会協議会
- ・歯学系学会社会保険委員会連合
- ・ジョイント4実行委員会
- ・社会歯科学会
- ・一般社団法人医療安全全国共同行動
- ・健康日本21推進全国連絡協議会
- ・公益財団法人国際医療技術財団
- ・一般社団法人国際歯科医療安全機構
- ・国際歯科衛生士連盟（IFDH）

後援、協力事業

- ・令和元年度「医療安全推進週間」
- ・第40回全国歯科保健大会
- ・第77回全国小学生歯みがき大会
- ・歯と口の健康週間
- ・令和元年度「健やか親子21－8020の里賞－」
- ・その他の後援

公益法人 6件 一般法人 15件 大学 5件 その他21件